LCD モニター

Display Pilot 2
取扱説明書

V 2.08

著作権と免責事項

著作権

Copyright 2026 BenQ Corporation. All rights reserved. 本書のいかなる部分も、BenQ Corporation の事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁気的、光学的、化学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、他言語またはコンピュータ言語への翻訳を行うことはできません。

このマニュアルに記載されているその他のロゴ、製品、会社名は、登録商標または各所有者の著作権であり、情報を目的にしてのみ使用されています。

免責

BenQ Corporation は、明示、暗示にかかわらず、本書の内容についていかなる表明も保証もいたしません。BenQ Corporation は本書を改訂する権利と、このような改訂や変更についていかなる人物に対しても通知する義務を負うことなく内容を変更できる権利を有しています。

製品出荷時にインストールされていないソフトウェア、パーツ、および本来同梱されていないアクセサリを使用した結果、問題（データの消失またはシステムの不具合）が生じた場合は、お客様ご自身の責任となります。

このマニュアルに記載されているスクリーンショットおよび図は参照用であり、実物とは異なる場合があります。

常に最新かつ正確な情報をお客様にお届けするために、内容が予告なく変更される場合があります。本書の最新版は、ホームページでご覧いただけます。

サービス

本書をお読みになっても疑問が解消されない場合は、詳しいサポートやお近くのカスタマーサービス情報が記載されている Support.BenQ.com をご覧ください。

Support.BenQ.com

> **注意**
>
> このマニュアルでは、メニューを開くための手順は簡略化して記載されています。例：**システム** > **情報**。

目次

著作権と免責事項 **2**
はじめに **3**
システム要件と互換モニター 3
セットアップ **4**
お使いになる前の準備 4
Display Pilot 2 のダウンロードと起動 5
ソフトウェアの更新 6
概要 **7**
全体設定 9
クイックアクセス 10
機能ツール / 機能 11
設定ページ **15**
各アプリケーションのカラーモードをカスタマイズする（**アプリケーションモード**） 16
詳細設定の調整（**ディスプレイシステムの設定**） 17
ウィジェットをカスタマイズする 18
選択したモニターに名前を付ける 19
Hotkey Puck キーのカスタマイズ 19
ショートカットキーでアプリケーションを立ち上げる 21
操作 **22**
カラーモードの変更とカスタマイズ 22
カラーモードにバンドルされている設定を確認する 23
Apple デバイスのカラープロファイル設定（**iDevice カラー同期**） 24
Windows デバイス 26
HDR モードの調整 28
モニターの色の精度を向上させる (**ICCsync**) 29

別の ICC プロファイルを適用する 29
同一画像を異なる色設定で作業をする（**デュアルビュー / DualView Plus**） 29
色温度の調整（**ブルーライト軽減 / ブルーライト軽減プラス**） 30
日中サイクルを介した色温度自動調整（**概日モード**） 31
カラーユニバーサルモードを有効にする（**カラーユニバーサル**） 31
HiDPI によるシャープな画像とテキスト 32
解像度の調整 32
MoonHalo でバイアス照明を調整する 33
画面の輝度を調整する 34
ソフトウェア減光による高度な輝度調整 34
キーボードホットキーによる輝度調整 36
輝度の同期による輝度調整 37
ライトセンサーによる輝度の自動同期と調整 38
B.I. Gen2/B.I.+ Gen2/Visual Optimizer による輝度と色温度の自動調整 39
夜間プロテクションによる最低輝度ソリューション 40
音量の調整 41
キーボードホットキーによる音量調整 41
オーディオモードを変更する 42
オーディオモードのカスタマイズ 42
スクリーンを回転させる（**オートピボット / ピボット**） 43
スクリーンを自動的に回転させる 43
スクリーンを手動で回転させる 43
実際の印刷サイズでデザインをプレビューする（**印刷アシスト**） 44
デイジーチェーン (MST) を使って複数のモニターを接続する 45
キーボード、マウス、その他の USB 周辺機器を **KVM** と共有する 46
一度に 1 つの入力を表示する 46

同時に 2 つの入力源を表示する（**スマート KVM/ スマート KVM ベーシック**）.....46
2 つ以上の映像信号を操作する (**PIP / PBP**).....47
複数の画面のレイアウトを管理する（**デスクトップパーティション**）.....48
プリセットのレイアウトを使う.....48
レイアウトのカスタマイズ.....50
スクリーンプライバシーの保護 (**EcoPrivacy**).....51
キーの組み合わせを使って、モニターの設定を調整します（**ショートカット**）.....51
プリセットのショートカットを使う.....51
ショートカットのカスタマイズ.....51
直接検索エンジンにアクセスする（**直接検索**）.....53
フォーカスシナリオをカスタマイズする (**FocuSync**).....54
日常の用途に応じてバンドルされているディスプレイ設定を調整する (**FloW**).....55
FloW の設定を調整する.....56
プリセットシナリオに対してモニター設定をすばやく切り替える（**シナリオ**）.....58
リアルタイムでコントラストを自動的に調整する（**AI コントラスト / ローカルコントラスト**）.....59
Pomodoro タイマーで時間を有効に管理する.....59
複数のモニター間で色設定を同期する（**色のミラー化**）.....61
設定をクラウドストレージにバックアップする 63
クラウドにソフトウェア設定をアップロードする.....63
クラウドから設定を読み込む.....64
サポートを探す 65
最新のユーザーマニュアルを読む.....65
カスタマーサービスに問い合わせる.....65

システムのリセット 67
ソフトウェアを終了する 67
トラブルシューティング 68
それでも解決できないときは 70

はじめに

Display Pilot 2 は、ディスプレイを正確に調整してあなたにぴったりのモニター構成を簡単に保存し、使用できるようにするソフトウェアユーティリティです。すべての要素はソフトウェアで調整できますので、モニターのオンスクリーンディスプレイ (OSD) を使用する必要がありません。

> **注意**
>
> - **Display Pilot 2** は接続したモニターをスキャンし、どのような機能がサポートされているかを検出します。使用できる機能は、モデルと入力源によって異なります。そのため、本書に記載される操作機能や機能の中にはアプリケーションに表示されないものもあります。
> - 本書に記載する図およびメニューオプションは参照用であり、他のモデルの BenQ モニター、ソフトウェアバージョン、ご使用のデバイスのオペレーティングシステム (OS) によって異なります。ユーザーインターフェイスは将来予告なく変更される場合があります。

システム要件と互換モニター

項目	説明
OS システム	最新情報については、www.BenQ.com > **Display Pilot 2** > **仕様**をご覧ください。
互換モニター	

セットアップ

このソフトウェアは、互換性がある BenQ モニターで使用すると全機能を使用することができます。その他のモニターでご使用になると、一部の機能しかご利用いただけません。ソフトウェアを起動すると、接続されているモニターをスキャンして検出します。モニターとコンピュータが正しく接続されていることを確認してください。

接続できるモニターの種類	Display Pilot 2 の表示名	使用できるソフトウェアの機能
対応する BenQ モニター	モデル名	全機能。 使用可能な機能 / 設定はモデル毎に異なります。
Mac シリーズモニター	Color LCD	一部の機能だけを使用できます： • 音量調整 • 輝度 • ディスプレイ設定にアクセス **注意** Mac シリーズのコンピュータでは、Apple キーボードの音量調整がネイティブで有効になっていますが、ソフトウェアには音量調整は表示されません。
Mac 以外のノートパソコン	内蔵ディスプレイ	一部の機能だけを使用できます： • 音量調整 • 輝度
互換性のない外付けモニター	認定済み：モニターの型番 未認定：一般的な表示	一部の機能だけを使用できます： • 音量調整（内部スピーカーが搭載されている場合） • 輝度

お使いになる前の準備

1. コンピュータ、モニター、ネットワークの接続が完了していることを確認してください。最大で 6 台のモニターを接続できます。
2. コンピュータとモニターの電源を入れます。
3. モニターの OSD メニューから DDC/CI コントロールが有効になっていることを確認してください。**システム** > **詳細設定** > **DDC/CI** > **オン**を選択します。（この機能を使用できるかどうかは、モデルによって異なります。）
4. 複数のモニターが接続されている場合は、ディスプレイのミラー化を行うか、または拡張してください。
5. （Windows のみ）**Display Pilot 2** 画面を外部モニターに表示するには、外部モニターをメインディスプレイに設定します。

注意

モニターに付属している Thunderbolt™ ケーブルまたは USB-C™ ケーブルをお使いになることをお勧めします。ソースデバイスをモニターに接続するときに、一般に販売されているコンバータ / アダプタは互換性が保証されないため、これらの使用は推奨しておりません。

Display Pilot 2 のダウンロードと起動

Linux ユーザー：www.BenQ.com で「**Display Pilot 2**」と「**Linux**」を検索してください。ダウンロードおよびインストール方法については、検索結果内の **FAQ** セクションをご参照ください。

1. www.BenQ.com > **Display Pilot 2** からウェブサイトを開き、ソフトウェアをダウンロードします。
2. ダウンロードしたファイルをクリックし、画面の指示にしたがってインストールを完了します。
3. をクリックするとソフトウェアが起動します。ソフトウェアを起動したときに、アップデートの有無が確認されます。6 ページの「ソフトウェアの更新」を参照してください。
4. Gmail、WeChat、Apple アカウントでソフトウェアにログインすると、ソフトウェアのクラウドサービスにアクセスできるようになります（63 ページの「設定をクラウドストレージにバックアップする」を参照してください）。地域によって、使用可能なアカウントサービスは異なります。ログイン画面を閉じて、ゲストとしても作業を続行することができます。
   接続したモニターがスキャンされ、識別されます。識別されたモニターが接続されている場合は、モデル名が表示されます。同じモデル名の識別されたモニターが複数接続されている場合は、モデル名に接尾詞が追加されます。モニターの接続と機能性については、4 ページの「セットアップ」をお読みください。
   モニターに互換性がないと表示される場合は、互換性のあるモニターに交換してください。または、現在のモニターで続行することもできますが、使用できる機能は限定的になります。
5. ソフトウェアのウィジェットが表示されます。インターフェイスの色と機能は、モニター毎に異なります。詳細は、7 ページの「概要」を参照してください。

注意

ソフトウェアのインターフェイスはデフォルトにより、オペレーティングシステムの言語設定に従います。インターフェイスの言語を変更するには、（**設定**）> **About** > **言語**を選択し、使用したい言語を選択します。

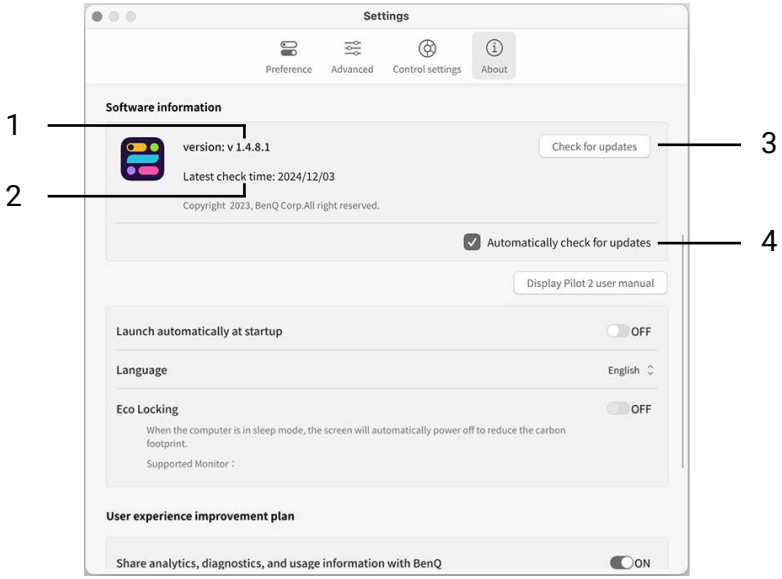
ヒント

ソフトウェアにはシステムトレイ / メニューバーの / アイコンをクリックすると開きます。または、コンピュータの**スタート**メニュー > **Display Pilot 2** からもアクセスできます。

ソフトウェアの更新

ソフトウェアを起動したときに、ソフトウェアが自動的にアップデートを確認するよう設定されています。アップデートがリリースされている場合は、それをダウンロードして自動的にソフトウェアを更新するよう手順が表示されます。

手動でアップデートの有無を確認するには、（**設定**）> **About** を選択して、**自動的にアップデートをチェックする**を無効にします。

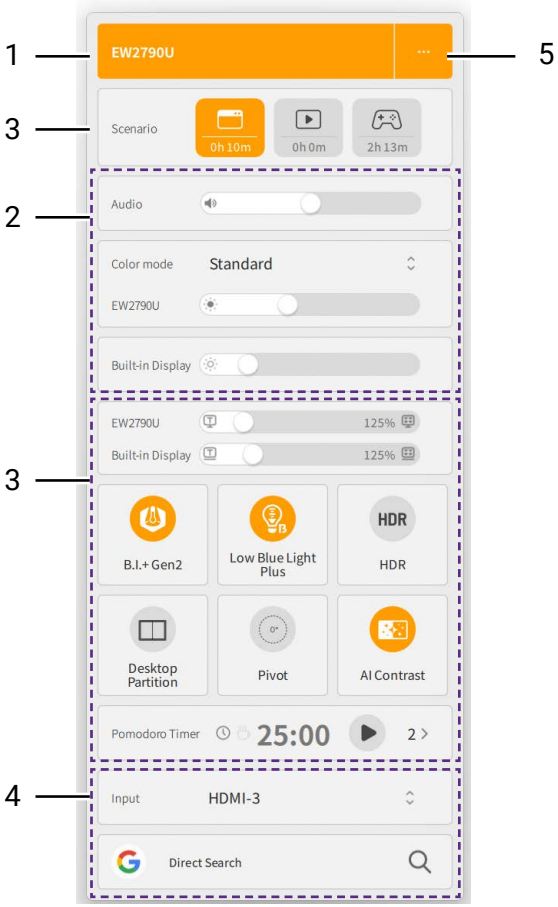


番号	説明
1.	現在のソフトウェアバージョンが表示されます。
2.	最新のソフトウェアのチェック時間が表示されます。
3.	ソフトウェアのアップデートを手動で確認します。 選択できるオプションは、ソフトウェアの状態により異なります。
4.	自動的に更新をチェックするかどうかを決定します。

概要

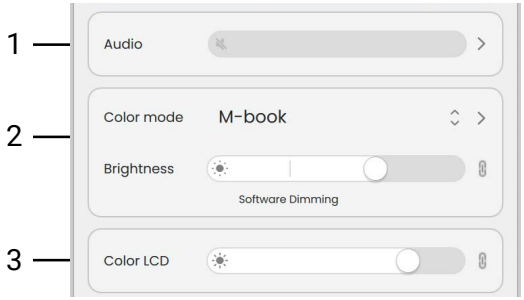
ソフトウェアのインターフェイスと **Display Pilot 2** で使用できる機能はシリーズ、モデル、入力源、環境設定により異なります。詳細は、18 ページの「ウィジェットをカスタマイズする」を参照してください。

> **注意**
>
> 本書に記載されているスクリーンショットおよび図は参照用であり、実物とは異なる場合があります。



番号	機能	説明
1.	モニターの名前	接続されたモニター、または接続されたモニターの一覧が表示されます。
2.	全体設定	音量、輝度、カラーモードなど一般的に使用される設定にアクセスします。詳細は、9 ページの「全体設定」を参照してください。
3.	機能ツール / 機能	• アイコンをクリックすることで、機能を有効 / 無効にします。アイコンがハイライトされているときには、この機能は有効です。 • その名前をクリックすることで、機能の設定を調整できます。 使用できる機能はモニターのシリーズにより異なります。詳細は、11 ページの「機能ツール / 機能」を参照してください。
4.	クイックアクセス	入力源およびコンピュータ / モニターの設定を切り替えます。詳細は、10 ページの「クイックアクセス」を参照してください。
5.	**設定**	ソフトウェア設定にアクセスできます。別のアプリケーションに対して環境設定をカスタマイズしたり、カラーモードを設定したりすることができます。詳細は、15 ページの「設定ページ」を参照してください。

全体設定



番号	機能	説明
1.	オーディオ	選択したスピーカーの音量を調整します。詳細は、41 ページの「音量の調整」を参照してください。 （EW シリーズのみ）ユーザーモードをカスタマイズするためにイコライザーを調整します。詳細は、42 ページの「オーディオモードのカスタマイズ」を参照してください。
2.	ディスプレイのカラーモードと輝度	現在のカラーモードと接続されているモニターの輝度レベルが表示されます。 • ⌃⌄ アイコンをクリックすると、カラーモードのリストにアクセスできます。 • › アイコンをクリックすると、詳細設定を調整できます。 詳細は、22 ページの「カラーモードの変更とカスタマイズ」および 34 ページの「画面の輝度を調整する」をご参照ください。 （MA シリーズのみ）ご使用のデバイスに最適な M-book モードカラー設定を変更します。詳細は、24 ページの「Apple デバイスのカラープロファイル設定（iDevice カラー同期）」を参照してください。
3.	ノートパソコンのスクリーンの輝度	ノートパソコンのスクリーンの輝度を調整できます。

クイックアクセス



番号	機能	説明
1.	入力ソース	入力源リストが開きます。設定できるオプションは、モデルと設定毎に変わります。
2.	直接検索 [1]	一般的に使用される検索エンジンを開き、ソフトウェアのインターフェイスから直接検索できます。詳細は、3 ページの「はじめに」を参照してください。
3.	解像度設定 [2]	コンピュータのディスプレイ設定にアクセスできます。ここでは解像度の設定を調整できます。
4.	フォーカスモード [3]	コンピュータのフォーカス設定にアクセスできます。さまざまな状況下において、受信したい通知を調整することができます。

注意

[1] 次のシリーズで有効です：RD/EW シリーズ

[2] 次のシリーズで有効です：PD シリーズ

[3] 次のシリーズで有効です：RD シリーズ

機能ツール / 機能

注意

Display Pilot 2 で使用できる機能は、モデル、入力源、環境設定により変わります。ソフトウェアが接続されたモニターを自動的に検出し、互換性の機能とツールだけを表示します。

- PD シリーズ
- RD シリーズ
- MA シリーズ
- EW シリーズ

PD シリーズ

	**デュアルビュー**	29 ページの「同一画像を異なる色設定で作業をする（デュアルビュー /DualView Plus）」を参照してください。
	**ICCsync**	29 ページの「モニターの色の精度を向上させる (ICCsync)」を参照してください。
	**デスクトップパーティション**	48 ページの「複数の画面のレイアウトを管理する（デスクトップパーティション）」を参照してください。
	**HiDPI**	32 ページの「HiDPI によるシャープな画像とテキスト」を参照してください。
	**オートピボット / ピボット**	43 ページの「スクリーンを回転させる（オートピボット / ピボット）」を参照してください。
	**印刷アシスト**	44 ページの「実際の印刷サイズでデザインをプレビューする（印刷アシスト）」を参照してください。
	**PIP / PBP**	47 ページの「2 つ以上の映像信号を操作する (PIP / PBP)」を参照してください。

ヒント

PD シリーズの詳しい情報は、19 ページの「Hotkey Puck キーのカスタマイズ」を参照してください。

RD シリーズ

-	**解像度スライダー**	32 ページの「解像度の調整」を参照してください。
	**夜間プロテクション**	40 ページの「夜間プロテクションによる最低輝度ソリューション」を参照してください。
	**Visual Optimizer**（旧 **B.I. Gen2**）	39 ページの「B.I. Gen2/B.I.+ Gen2/ Visual Optimizer による輝度と色温度の自動調整」を参照してください。

ブルーライト軽減	30 ページの「色温度の調整（ブルーライト軽減 / ブルーライト軽減プラス）」を参照してください。
EcoPrivacy	51 ページの「スクリーンプライバシーの保護 (EcoPrivacy)」を参照してください。
オートピボット / ピボット	43 ページの「スクリーンを回転させる（オートピボット / ピボット）」を参照してください。
デスクトップパーティション	48 ページの「複数の画面のレイアウトを管理する（デスクトップパーティション）」を参照してください。
ショートカット	51 ページの「キーの組み合わせを使って、モニターの設定を調整します（ショートカット）」を参照してください。
HDR	28 ページの「HDR モードの調整」を参照してください。
HiDPI	32 ページの「HiDPI によるシャープな画像とテキスト」を参照してください。
デイジーチェーン (MST)	45 ページの「デイジーチェーン (MST) を使って複数のモニターを接続する」を参照してください。
MoonHalo	33 ページの「MoonHalo でバイアス照明を調整する」を参照してください。
PIP / PBP	47 ページの「2 つ以上の映像信号を操作する (PIP / PBP)」を参照してください。
DualView Plus	29 ページの「同一画像を異なる色設定で作業をする（デュアルビュー /DualView Plus）」を参照してください。
FloW	55 ページの「日常の用途に応じてバンドルされているディスプレイ設定を調整する (FloW)」を参照してください。
カラーユニバーサル	31 ページの「カラーユニバーサルモードを有効にする（カラーユニバーサル）」を参照してください。
ローカルコントラスト	59 ページの「リアルタイムでコントラストを自動的に調整する（AI コントラスト / ローカルコントラスト）」を参照してください。

MA シリーズ

-	**解像度スライダー**	32 ページの「解像度の調整」を参照してください。
	**FocuSync**	54 ページの「フォーカスシナリオをカスタマイズする (FocuSync)」を参照してください。
	**ICCsync**	29 ページの「モニターの色の精度を向上させる (ICCsync)」を参照してください。
	**B.I.+ Gen2**	39 ページの「B.I. Gen2/B.I.+ Gen2/ Visual Optimizer による輝度と色温度の自動調整」を参照してください。
	**ブルーライト軽減**	30 ページの「色温度の調整（ブルーライト軽減 / ブルーライト軽減プラス）」を参照してください。
	**オートピボット / ピボット**	43 ページの「スクリーンを回転させる（オートピボット / ピボット）」を参照してください。
	**デスクトップ パーティション**	48 ページの「複数の画面のレイアウトを管理する（デスクトップパーティション）」を参照してください。
	**HDR**	28 ページの「HDR モードの調整」を参照してください。
	**カラーユニバーサル**	31 ページの「カラーユニバーサルモードを有効にする（カラーユニバーサル）」を参照してください。

ヒント

MA シリーズの詳しい情報は、37 ページの「輝度の同期による輝度調整」、24 ページの「Apple デバイスのカラープロファイル設定（iDevice カラー同期）」を参照してください。

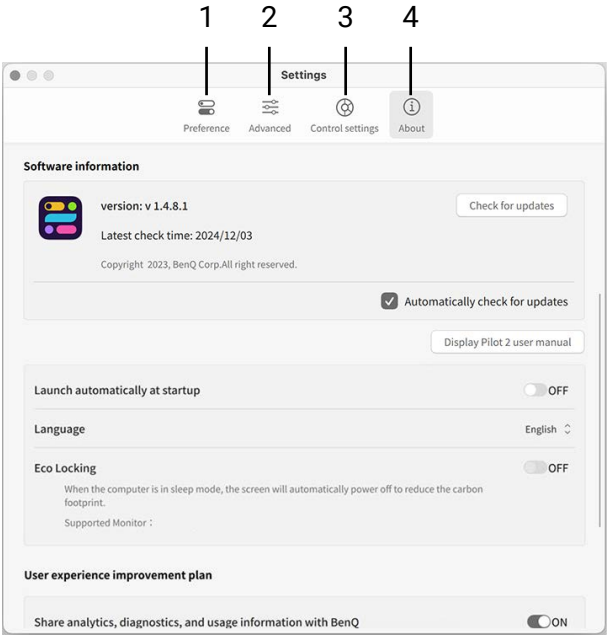
EW シリーズ

-	**シナリオアシスタント**	58 ページの「プリセットシナリオに対してモニター設定をすばやく切り替える（シナリオ）」を参照してください。
-	**解像度スライダー**	32 ページの「解像度の調整」を参照してください。
	**B.I.+ Gen2**	39 ページの「B.I. Gen2/B.I.+ Gen2/ Visual Optimizer による輝度と色温度の自動調整」を参照してください。

	**ブルーライト軽減 プラス**	30 ページの「色温度の調整（ブルーライト軽減 / ブルーライト軽減プラス）」を参照してください。
	**HDR**	28 ページの「HDR モードの調整」を参照してください。
	**デスクトップ パーティション**	48 ページの「複数の画面のレイアウトを管理する（デスクトップパーティション）」を参照してください。
	**HiDPI**	32 ページの「HiDPI によるシャープな画像とテキスト」を参照してください。
	**オートピボット / ピボット**	43 ページの「スクリーンを回転させる（オートピボット / ピボット）」を参照してください。
	**ショートカット**	51 ページの「キーの組み合わせを使って、モニターの設定を調整します（ショートカット）」を参照してください。
	**AI コントラスト**	59 ページの「リアルタイムでコントラストを自動的に調整する（AI コントラスト / ローカルコントラスト）」を参照してください。
-	**Pomodoro タイマー**	59 ページの「Pomodoro タイマーで時間を有効に管理する」を参照してください。

設定ページ

ソフトウェアの環境設定を行い、**設定**でカスタマイズ設定にアクセスします。別のモニターシリーズおよびモデルについては、有効な設定オプションは変わります。



番号	ページ名	説明
1.	**環境設定**	ウィジェットからアクティベートできる対応機能を決定します。
2.	**詳細設定**	すべてのシリーズの設定： • 「各アプリケーションのカラーモードをカスタマイズする（アプリケーションモード）」 RD シリーズの設定： • 「日常の用途に応じてバンドルされているディスプレイ設定を調整する (FloW)」 • 「詳細設定の調整（ディスプレイシステムの設定）」 MA シリーズの設定： • 「フォーカスシナリオをカスタマイズする (FocuSync)」 • 「詳細設定の調整（ディスプレイシステムの設定）」

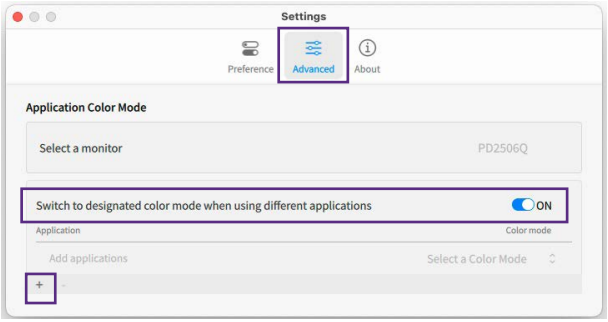
番号	ページ名	説明
3.	**コントロール設定**	（Hotkey Puck G3 搭載 PD シリーズ用） Hotkey Puck のコントロールキーをカスタマイズします。
4.	**About**	ソフトウェアのその他の設定にアクセスできます。 • 「設定をクラウドストレージにバックアップする」 • 「ソフトウェアの更新」 • 「カスタマーサービスに問い合わせる」 • 「選択したモニターに名前を付ける」

各アプリケーションのカラーモードをカスタマイズする（**アプリケーションモード**）

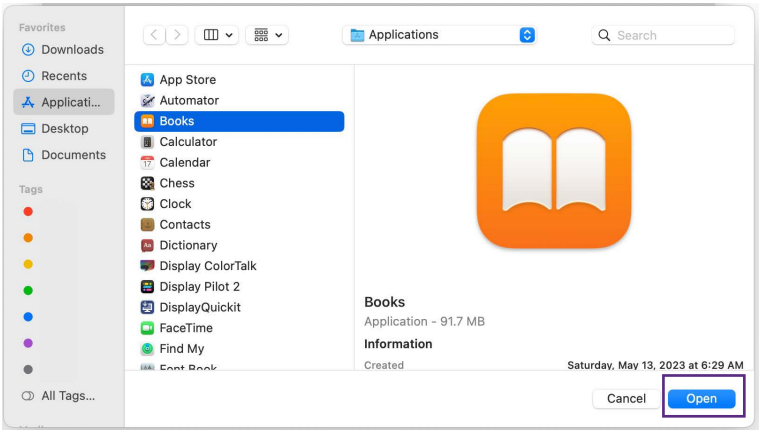
アプリケーションを起動して手前に表示したときにプリセットのカラーモードが自動的に適用されるように、アプリケーションにカラーモードを割り当てます。

> **注意**
>
> HDR が有効のとき、**アプリケーションカラーモード**機能は一時的に無効になります。

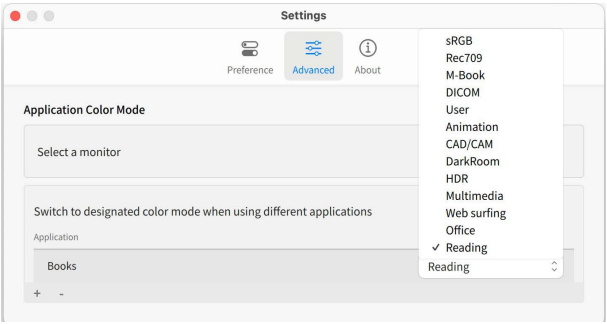
1. （**設定**）> **詳細設定**を選択します。
2. **アプリケーションカラーモード**に切り替えます。



3. ＋ をクリックしてコンピュータからアプリケーションを選択し、アプリケーションリストに追加します。



4. ソフトウェアに戻り、追加したばかりのアプリケーションを確認できたら、カラーモードリストから好きなオプションを選択します。アプリケーションが起動され画面が手前に表示されると、直ちにプリセットのカラーモードが適用されます。



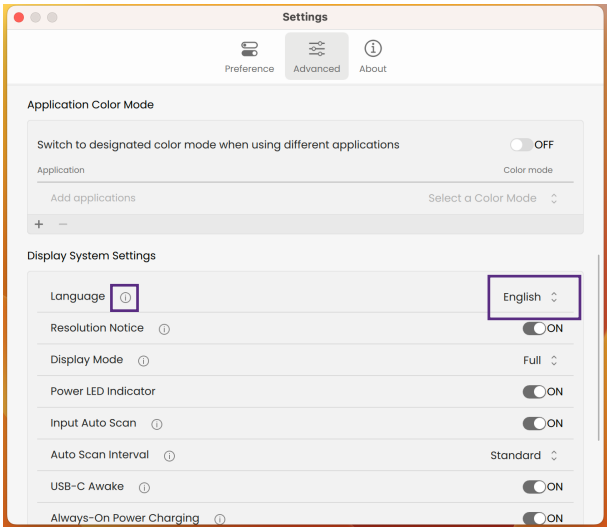
5. リストからアプリケーションを削除するには、アプリケーションを選択して − をクリックします。

詳細設定の調整（ディスプレイシステムの設定）

次のシリーズで有効です：MA/RD シリーズ

Display Pilot 2 は、モニターのより包括的なシステム設定にアクセスできます。

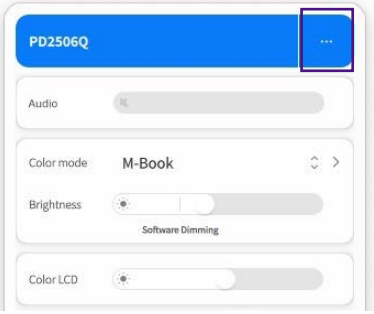
1. ••• （**設定**）> **詳細設定** > **ディスプレイ システムの設定**を選択します。
2. 特定の機能についての詳細をご覧になるには、機能の名前の横にある ⓘ をクリックしてください。
3. オプションを選択するか、リストから機能のオン / オフを切り替えます。設定はすぐにモニターに適用されます。



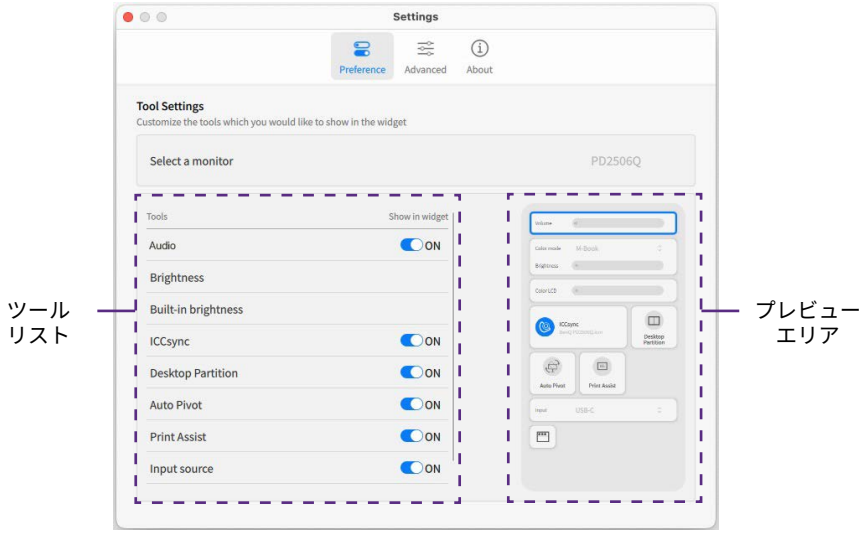
ウィジェットをカスタマイズする

接続した別のシリーズの BenQ モニターによっては、ソフトウェアのインターフェイスの色が変わります。インターフェイスの色は変更できません。ただし、ウィジェットをシンプルに維持し、頻繁に使用する機能だけを表示しておくことは可能です。

1. ••• （**設定**）> **環境設定**を選択します。



2. 複数のモニターが接続されていると、**モニターを選択**から指定することができます。
3. 選択したモニターのすべての対応機能が**ツール**にリストされます。ソフトウェアのウィジェットに表示したくない場合は、機能をオフにしてください。ウィジェットのレイアウトは、**環境設定**ページの右側ですぐにプレビューできます。



注意

機能はウィジェットからしか有効にすることはできません。サポートされているツールがウィジェットに表示されない場合は、（**設定**）> **環境設定**を選択して、先にリストに表示されるようにしてください。その後で、ウィジェットに戻り機能を有効にします。

選択したモニターに名前を付ける

接続した外付けモニターを識別しやすいように、モニターの名前を変更することができます。

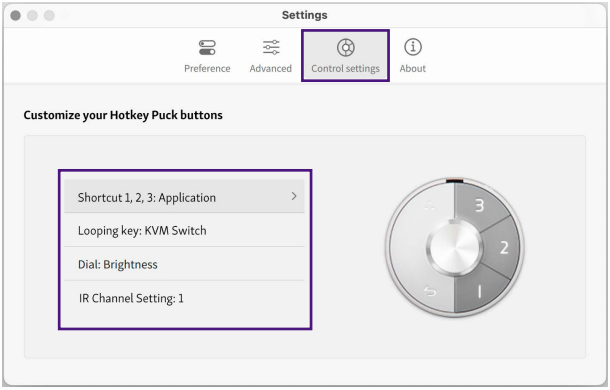
1. （**設定**）> **About** を選択します。
2. **表示情報**にスクロールします。既存のモニターに名前を付けます。デバイスの名前は最大で 12 文字です。

Hotkey Puck キーのカスタマイズ

次のシリーズで有効です：Hotkey Puck G3 搭載 PD シリーズ

各 Hotkey Puck キーには、**Display Pilot 2** から任意の機能を割り当てることができます。

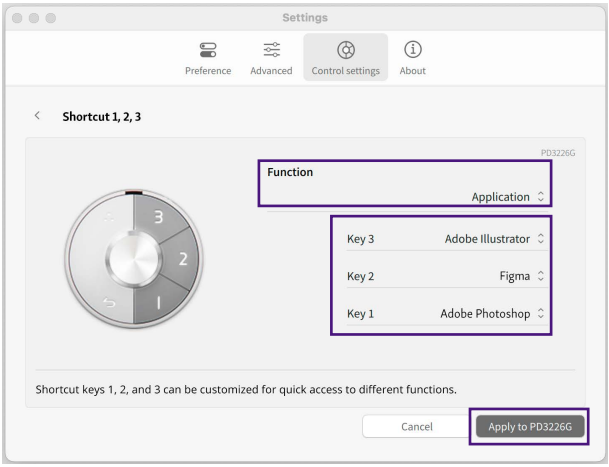
1. （**設定**）> **コントロール設定**を選択します。
2. Hotkey Puck に対応する複数の外部モニターが接続されている場合は、**モニターを選択**から 1 台選択してください。
3. 設定ページにはキー一覧と現在の機能設定が表示されます。調整したいキーを選択します。キーの位置については、右側の画像を参照してください。



注意

各 Hotkey Puck キー機能の詳細は、それぞれのモニターのユーザーマニュアルをお読みください。

4. キー設定ページでキーに機能を割り当てます。



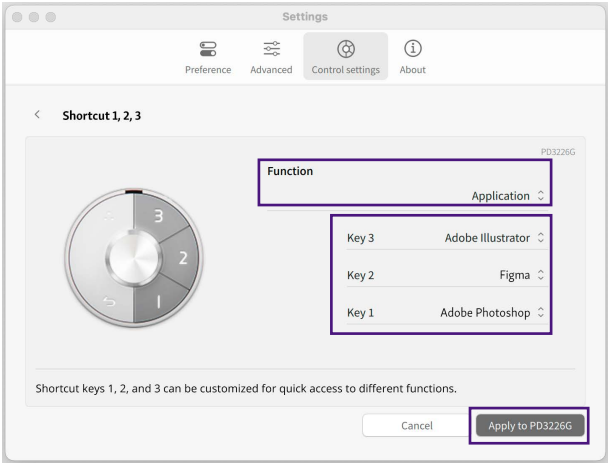
5. （オプション）キー機能によっては、キーで最大 3 つのオプションにアクセスする必要があるかもしれません。
6. **適用先（モニター名）**を選択します。ダイアログボックスが表示されるのを待ち、**OK** をタップします。

ショートカットキーでアプリケーションを立ち上げる

次のシリーズで有効です：Hotkey Puck G3 搭載 PD シリーズ

Display Pilot 2 は、頻繁に使用するアプリケーションをショートカットキーに割り当てることにより、割り当てたキーを押すとソフトウェアを起動することができます。

1. **コントロール設定**で**ショートカット 1、2、3** を選択します。
2. **機能**から**アプリケーション**を選択します。
3. 各キーについては、プリセットのソフトウェア一覧からアプリケーションを選択するか、**その他**を選択してコンピュータからソフトウェアを選択してください。
4. **適用先（モニター名）**を選択します。ダイアログボックスが表示されるのを待ち、**OK** をタップします。



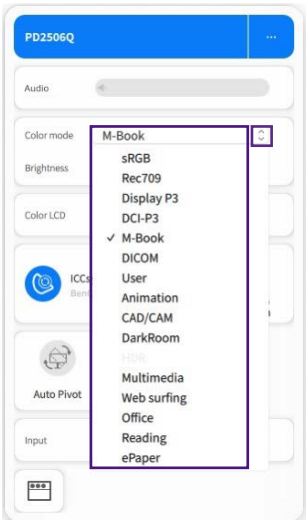
操作

カラーモードの変更とカスタマイズ

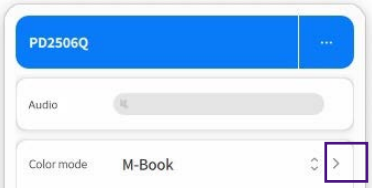
注意

- 設定できるカラーモードは、モデル毎に異なります。各カラーモードの説明を表示する方法については、接続したモニターのユーザーガイドをお読みください。
- カラーモードを選択すると、できるだけ色を統一させるために、相当する ICC プロファイルがコンピュータに自動的に適用されます。ICC プロファイルを変更するには、29 ページの「別の ICC プロファイルを適用する」を参照してください。

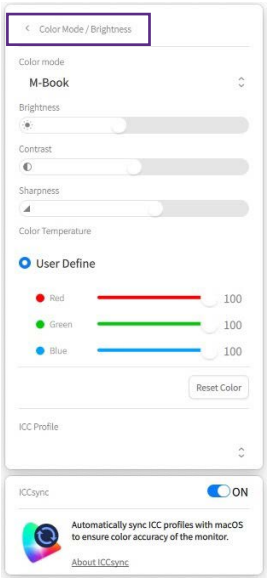
1. **カラーモード**リストからオプションを 1 つ選択します。設定できるオプションは、モデル毎に異なります。



2. カラーモードの横にある ＞ をクリックして、関連する設定を調整します。使用可能な設定はカラーモード毎に異なります。



3. 調整が完了したら、 〈 をクリックして終了します。



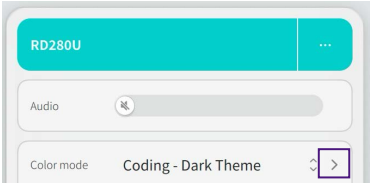
カラーモードにバンドルされている設定を確認する

特定モデルのみ

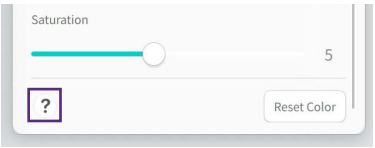
一部の設定はカラーモードに合わせて調整し、保存することができます。カラーモードを選択すると、希望する設定が適用されます。

カラーモードにバンドルされている設定を確認するには、次の手順にしたがってください。

1. カラーモードの横にある 〉 をクリックします。



2. 画面の下にあるクエスチョンマーク アイコンをクリックします。



3. カラーモードにバンドルされている設定リストは、ポップアップ画面でご覧いただけます。



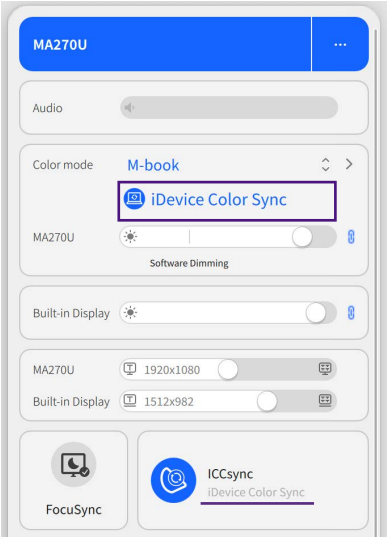
Apple デバイスのカラープロファイル設定（**iDevice カラー同期**）

次のシリーズで有効です：MA シリーズ

M-book モードでは、接続した Apple デバイスの色に自動的に一致させるために、デフォルトにより **iDevice カラー同期**が有効になっています。この機能を無効にするには、テキストを再度クリックしてください。

注意

iDevice カラー同期が有効のときには、ICC Sync もアクティブになり、無効にすることはできません。

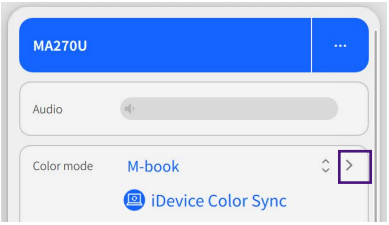


別の Apple デバイスからご使用のデバイスに異なるカラープロファイルを手動で適用することもできます。OS（Mac または Windows）によって、デフォルトのカラープロファイルは異なります。

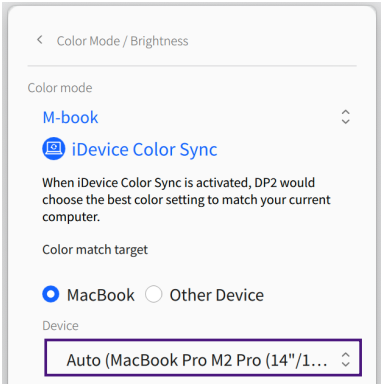
- 「Mac デバイス」
- 「Windows デバイス」

Mac デバイス

1. カラーモードの横にある ＞ をクリックします。

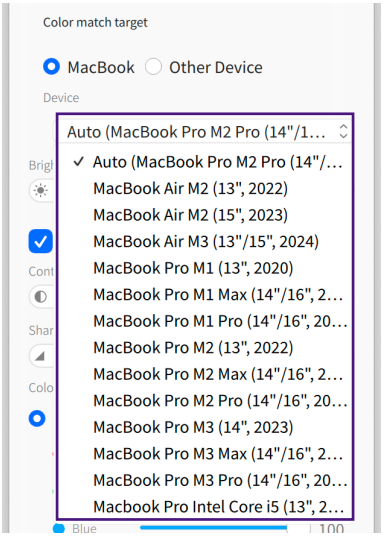


2. ソフトウェアが接続したデバイスを認識する場合は、相当するカラープロファイルが自動的に適用されます。



> **注意**
>
> 次のいずれかのデバイスをお使いの場合は、ソフトウェアが Apple デバイスを**その他のデバイス**として認識する可能性があります。
>
> - 未対応の MacBook モデル、今後対応する可能性がある MacBook モデル（最新版モデルなど）
> - MacBook 以外のデバイス（Mac mini、Mac Studio など）

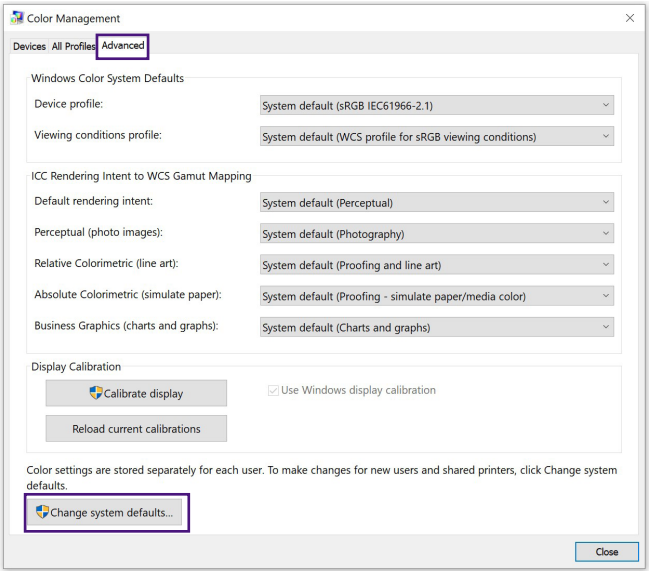
3. ディスプレイの色設定をカスタマイズするには、**色一致ターゲット**を選択してデバイスリストのオプションを選択します。



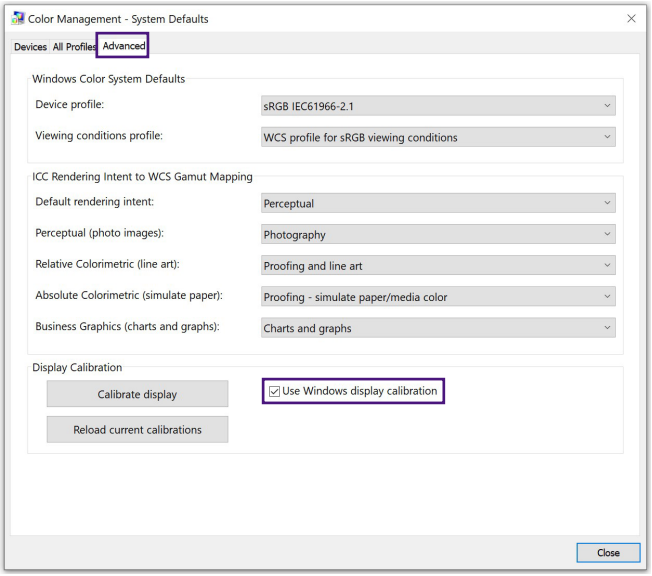
Windows デバイス

iDevice カラー同期を使用するモニターにカラープロファイルを適用するには、システム設定が次のように有効になっていることを確認してください。

1. Windows で「**色の管理**」と検索して色管理画面を開きます。
2. **詳細設定**タブで**システムの既定の変更**をクリックします。

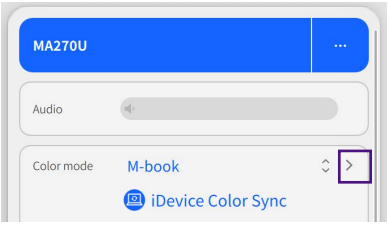


3. 再度**詳細設定**タブをクリックし、**Windows のディスプレイ調整を使用**にチェックマークを付けます。



Display Pilot 2 ソフトウェアに戻ります。

1. カラーモードの横にある ＞ をクリックします。



2. **色一致ターゲット**は、M-book モードカラーの統一バージョンである**その他のデバイス**に設定されます。
3. ディスプレイの色設定をカスタマイズするには、**色一致ターゲット**を選択してデバイスリストのオプションを選択します。

HDR モードの調整

HDR 互換モニターでは、**カラーモード**リストで HDR モードがグレイ表示されます。他の BenQ モニターシリーズでは、次の手順で HDR 機能を有効にできます。

注意

- **ソフトウェア減光**また、**輝度の同期**は **HDR** がオンであり、**バックライト操作**が**オン**に設定されているときには無効になります。
- HDR が有効のとき、**アプリケーションカラーモード**機能は一時的に無効になります。

次のシリーズで有効です：PD シリーズ

OS から HDR 機能が有効になっており、HDR コンテンツが接続されていると、モニターは自動的に HDR モードに切り替わります。

次のシリーズで有効です：RD シリーズ

Mac OS	ウィジェットから HDR をクリックして、コンピュータの HDR 設定を開きます。
Windows OS	ウィジェットから HDR をクリックして、**HDR** を有効にします。 コンピュータの HDR 設定にクイックアクセスする： 1. ウィジェットから機能名 **HDR** をクリックします。 2. **HDR システム設定**をクリックして、コンピュータの HDR 設定を開きます。

次のシリーズで有効です：MA/EW シリーズ

ウィジェットから HDR をクリックして、**HDR** を有効にします。モニターは自動的に HDR モードに切り替わります。

モニターの色の精度を向上させる（ICCsync）

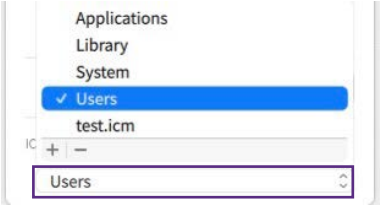
次のシリーズで有効です：PD/MA シリーズ

コンピュータのカラープロファイル（ICC プロファイル）は、必ずしもお使いのモニターに最適であるとは限りません。忠実に色を再現するためには、コンピュータの ICC プロファイルを変更してコンピュータとモニターが最高の状態で作動するようにしてください。**Display Pilot 2** から **ICCsync** 機能を活用すると、ワンクリックで調整できます。

ICCsync を有効にするには、ウィジェットから をクリックします。モニターとコンピュータの色管理システムの間で忠実に色を再現できるように、カラーモード（ICC プロファイルに用意されています）が適用されると自動的に同期が行われます。

別の ICC プロファイルを適用する

1. 関連する設定について、ウィジェットで**カラーモード**の横にある ＞ をクリックします。
2. 設定の一番下に、現在の ICC プロファイルが表示されます。プロファイル名をクリックします。



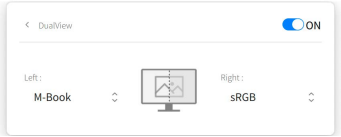
3. すると、使用可能な ICC プロファイルが表示されます。
   - リストから既存のプロファイルを選択すると適用されます。
   - ＋ を選択して、コンピュータ上で *.icm または *.icc フォーマットの別の ICC プロファイルを探します。モニターの調整がすでに行われており、新しい ICC プロファイルが生成されている場合は、そのプロファイルを探してキャリブレーション結果を適用します。
   - リストから手動で追加したプロファイルを選択し、− をクリックすると削除されます。内蔵プロファイルでは − アイコンは使用できません。

同一画像を異なる色設定で作業をする（デュアルビュー /DualView Plus）

次のシリーズで有効です：PD/RD シリーズ（特定モデルのみ）

デュアルビュー /DualView Plus は、2 つの異なるカラーモードを横に並べて表示することで、作業効率を飛躍的に高めることができます。**DualView Plus** は、シングル入力およびデュアル入力の両方に対応しますので（PIP/PBP モード）、より柔軟に応用オプションを選択することができます。

1. **デュアルビュー /DualView Plus** を有効にするには、ウィジェットから / をクリックします。スクリーンは 2 つの画面に分けられます。現在のカラーモードは左側の画面に適用されます。
2. ウィジェットから機能名**デュアルビュー /DualView Plus** をクリックして、2 つの画面にそれぞれカラーモードを設定します。



色温度の調整（**ブルーライト軽減 / ブルーライト軽減プラス**）

次のシリーズで有効です：RD/MA/EW シリーズ

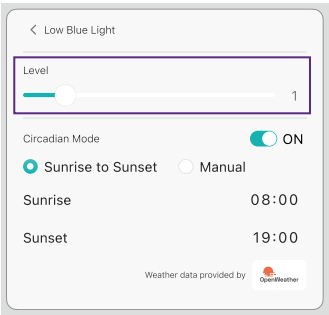
注意

- 調整内容は、カラーモード切替で保存、適用されます。詳細は、23 ページの「カラーモードにバンドルされている設定を確認する」を参照してください。
- この機能は、特定のピクチャモード（カラーモード）でのみ機能します。この機能を使用できないモードのときには、このメニュー オプションはグレー表示されます。

ブルーライト軽減 / ブルーライト軽減プラス技術は、目にブルーライトがあまり当たらないように、ディスプレイのブルーライトを軽減します。

カラーモードに関係なく、お好みでブルーライトを軽減することができます。

1. ウィジェットからアイコン または機能名**ブルーライト軽減 / ブルーライト軽減プラス**をクリックすると、設定にアクセスできます。
2. **レベル**でフィルタの値を調整します。値を上げるほど効果が強くなります。

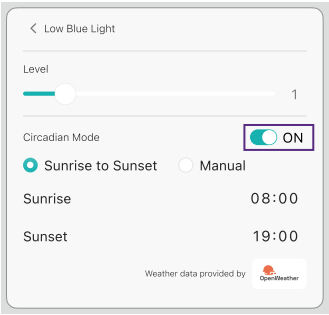


日中サイクルを介した色温度自動調整（**概日モード**）

次のシリーズで有効です：RD/MA/EW シリーズ

日中、スクリーンの色温度を自動調整する**ブルーライト軽減 / ブルーライト軽減プラス**には**概日モード**が含まれます（自然な日の出から日の入りのサイクルをミラー化）。

1. 関連する設定について、ウィジェットで**ブルーライト軽減 / ブルーライト軽減プラス**をクリックします。
2. **概日モード**を**オン**に設定します。



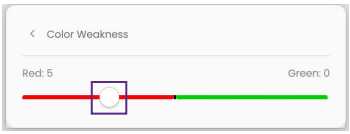
3. 自動検出（**日の出から日没まで**）を介した日の出と日の入りの回数を設定します。または、手動で調整します（**手動**）。

カラーユニバーサルモードを有効にする（**カラーユニバーサル**）

次のシリーズで有効です：RD/MA シリーズ

カラーユニバーサルは、赤と緑のフィルターを使って、色盲の方がモニターに表示される赤または緑の量をカスタマイズできるアクセシビリティ機能です。このモードは異なる色を見分けやすくします。

1. ウィジェットから をクリックすると、設定にアクセスできます。
2. スライダーをクリックした後、ドラッグしてフィルターの値を調整します。値を上げるほど効果が強くなります。



HiDPI によるシャープな画像とテキスト

次のシリーズで有効です：QHD パネルを持つ PD/RD/EW シリーズ
対応 OS：macOS

HiDPI は、UI 要素の実際のサイズを維持しながら画面の解像度を効率的に倍増し、高いピクセル密度で利用できるようにします。

HiDPI を有効にするには、ウィジェットから HiDPI をクリックします。

注意

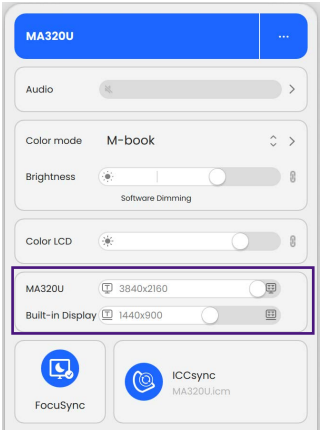
（**解像度**）をクリックして、コンピュータの解像度設定を開きます。

解像度の調整

次のシリーズで有効です：RD/MA/EW シリーズ

スライダーを直接ドラッグすることで、ディスプレイやノートパソコンのスクリーン解像度を調整することができます。

1. 現在の解像度はスライダー上で確認できます。



2. スライダーをクリック・アンド・ドラッグして、スクリーンの解像度を調整します。設定はスライダーを離すとすぐに適用されます。

   注意

   設定可能な解像度は、モデルと接続した機器により異なります。

MoonHalo でバイアス照明を調整する

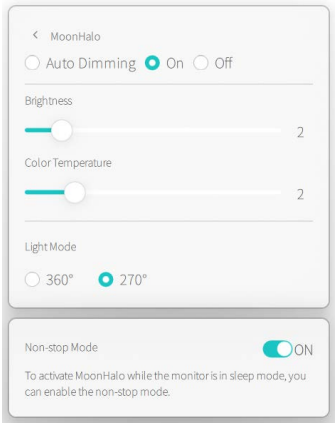
次のシリーズで有効です：RD シリーズ（特定モデルのみ）

注意

調整内容は、カラーモード切替で保存、適用されます（特定モデルのみ）。詳細は、23 ページの「カラーモードにバンドルされている設定を確認する」を参照してください。

MoonHalo は、表示環境の照明を調和させるための内蔵モニターのバイアス照明です。作業効率を高め、眼精疲労を軽減させるために、この機能を有効にしてください。

1. ウィジェットからアイコン または機能名 **MoonHalo** をクリックすると、設定にアクセスできます。
2. 機能を有効にするには、**自動調光**または**オン**を選択します。**自動調光**は、検出した環境照明をもとに自動的に MoonHalo の輝度を調整し、スクリーンの輝度と同期し、低照明環境において目を保護します。



3. **輝度、色温度、ライトモード**を設定します。
   - **ライトモード**は次の 2 つの照明角度から選択できます：**360°** および **270°**。シナリオに応じて、適切な照明モードを設定することができます。
4. モニターがスリープモードのとき **MoonHalo** をオンにするには、**ノンストップ モード**をオンにしてください。

画面の輝度を調整する

モニターのコントロールキーとは別に、画面の輝度をソフトウェアから簡単に調整できる方法がいくつか用意されています。

- ウィジェットの輝度スライダー
- ソフトウェア減光
- キーボードホットキー
- Brightness Intelligence Gen2 (B.I. Gen2)[(1)]/Brightness Intelligence Plus Gen2 (B.I.+ Gen2)[(2)] /Visual Optimizer(V.O.)[(1)]
- 夜間プロテクション [(1)]
- 輝度の同期 [(3)]

注意

[(1)] 次のシリーズで有効です：RD シリーズ

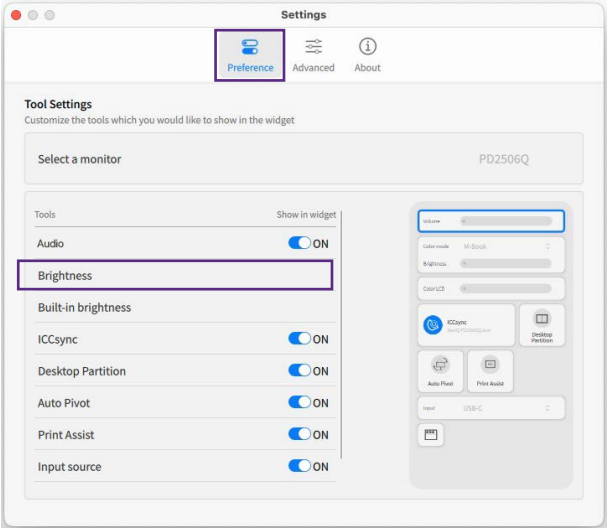
[(2)] 次のシリーズで有効です：MA/EW シリーズ

[(3)] 次のシリーズで有効です：MA/RD シリーズ

ソフトウェア減光による高度な輝度調整

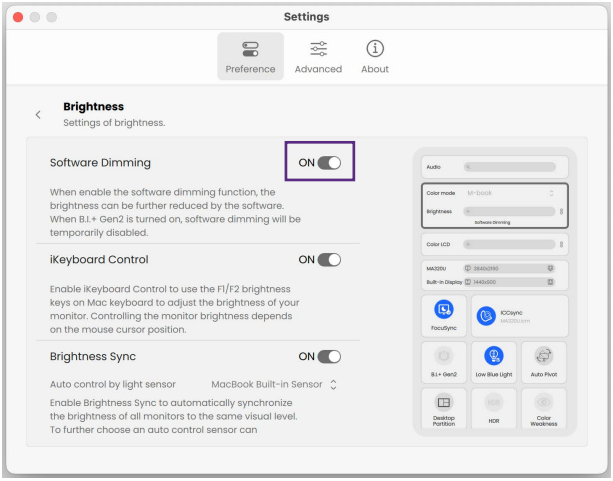
ソフトウェア減光を活用すると、ハードウェアとソフトウェアで輝度を調整することができます。ソフトウェアでさらに輝度を下げることで、暗い環境でも目に負担をかけずにモニターをお使いいただけます。

1. （**設定**）> **環境設定** > **輝度**を選択します。

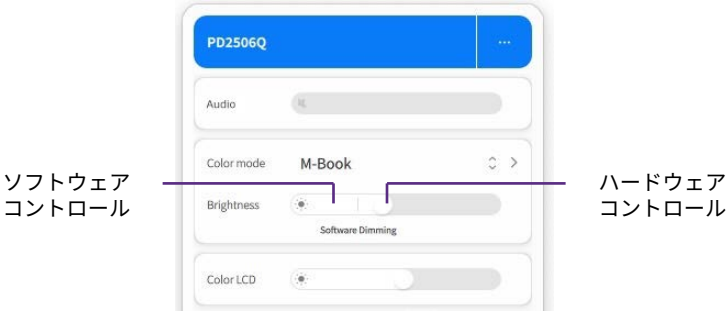


2. **ソフトウェア減光**が有効になっていることを確認します。輝度のソフトウェア調整が追加されているため、画面の輝度が若干調整されます。

> **注意**
>
> - **ソフトウェア減光**は、次の状況ではグレイ表示されます。1) **B.I. Gen2/B.I.+ Gen2/Visual Optimizer** がオンのとき、または 2) **HDR** がオンであり、**バックライト操作**が**オン**に設定されているとき。**B.I. Gen2/B.I.+ Gen2/Visual Optimizer** を無効にして、**バックライト操作**を**オフ**に設定した後で、再度やり直してください。
> - PIP/PBP モードのとき、**ソフトウェア減光**はメインの入力源にのみ適用されます。



3. **ソフトウェア減光**はウィジェットの**輝度**スライダーに、この機能が有効になっているかどうかが表示されます。



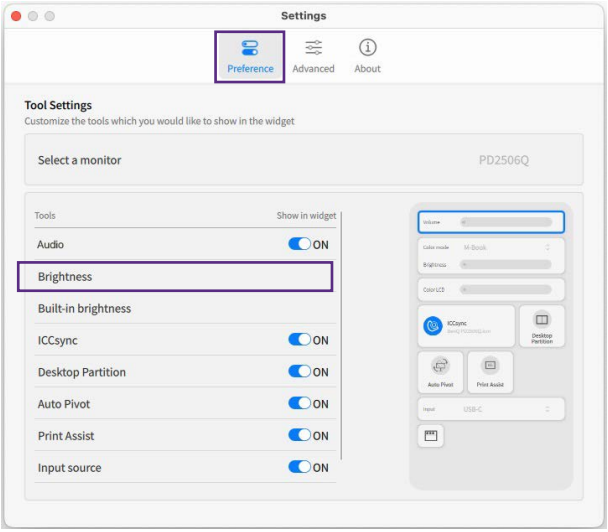
4. （オプション）**キーボードホットキー**を有効にすると、ウィジェットを使用しなくても簡単に画面の輝度を上げることができます。
5. 輝度は通常どおりに変更してください。輝度が一定レベルまで下がると、ソフトウェアによって最低レベルまで下げられます。
6. 再度輝度を上げるには、モニターのコントロールキーをお使いください。または、ウィジェットを使用できない場合は Apple キーボードの F2 キーをお使いください（**キーボードホットキー**が有効の場合）。

キーボードホットキーによる輝度調整

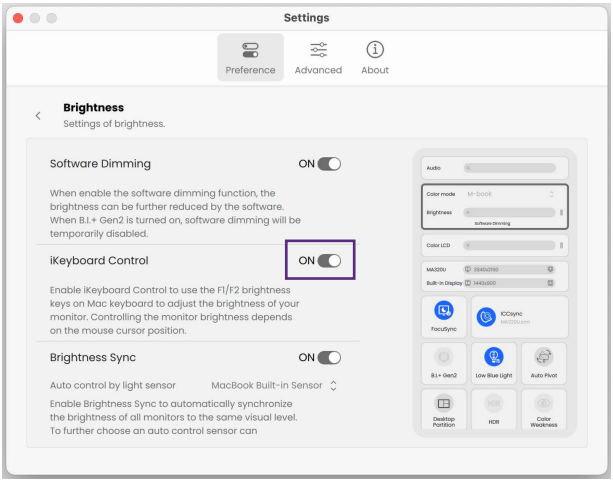
次のシリーズで有効です：macOS および Apple キーボード

キーボードホットキーを活用すると、Apple キーボードの F1/F2 キーを押すことで、接続した互換モニターの輝度を調整することができます。

1. （**設定**）> **環境設定** > **輝度**を選択します。



2. **キーボードホットキー**が有効になっていることを確認します。



3. 輝度を調整したい互換モニターの画面にカーソルを合わせて、キーボードの F1/F2 キーを押すと、直接輝度を調整することができます。
4. 輝度レベルを細かく調整するには、Option + Shift + F1/F2 キーを押します。

輝度の同期による輝度調整

次のシリーズで有効です：MA/RD シリーズ

注意

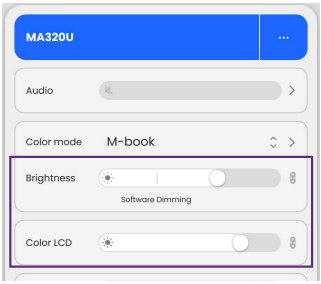
HDR がオンであり、**バックライト操作**が**オン**に設定されているときには、**輝度の同期**がグレー表示されます。先に**バックライト操作**を**オフ**に設定してください。

輝度の同期を使用すると、設定したベースライン値に基づいて同じ視覚レベルになるように、接続したすべてのモニターの輝度が自動的に同期されます。その後は、輝度を調整するたびにすべてのスクリーンが同時に調整されます。

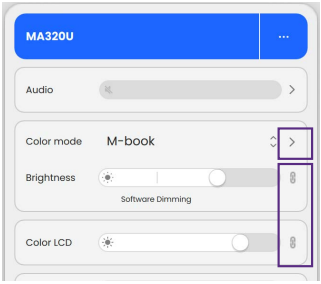
1. お使いのディスプレイとノートパソコンの輝度を同じレベルに調整します。

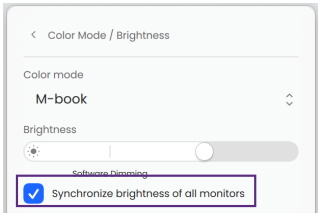
   ヒント

   できるだけ忠実に表示するために、調整する場合は別々のスクリーンで同じ画像またはウェブページをお使いになることをお勧めします。



2. 輝度バーの横にある をクリックして、**輝度の同期**を有効にします。
   または、カラーモードの横にある 〉 をクリックして、**すべてのモニターの輝度を同期**にチェックマークを付けると機能が有効になります。
   それぞれのスクリーンの現在の輝度レベルの設定値が同期のベースラインとして使用されます。



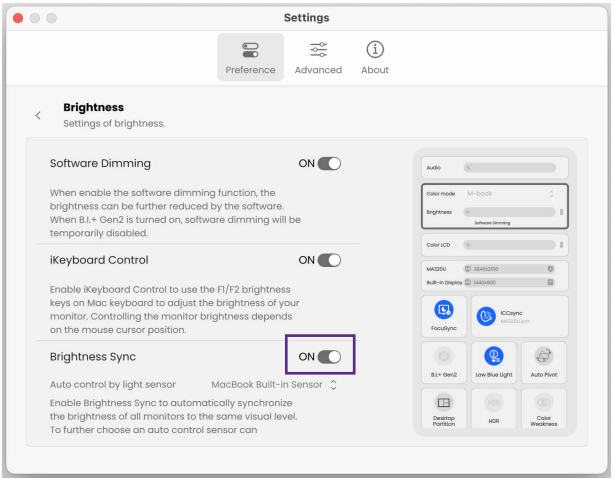


ライトセンサーによる輝度の自動同期と調整

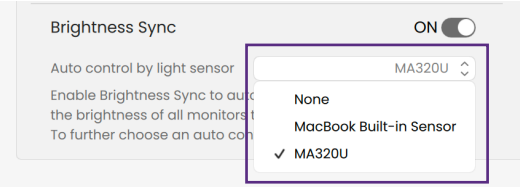
次のシリーズで有効です：MA/RD シリーズ

モニターや MacBook デバイスに内蔵されている環境照明センサーを使用することで、照明光を検出した後、**Display Pilot 2** がスクリーンの輝度を自動的に調整します。

1. （**設定**）> **環境設定** > **輝度**を選択して、**輝度の同期**が有効になっていることを確認します。



2. **ライトセンサーで自動制御**でセンサーソースを選択します。Macbook または MA/RD シリーズディスプレイの内蔵センサーを使用できるように選択できます。



> **注意**
>
> **B.I. Gen2/B.I.+ Gen2/Visual Optimizer** 機能は、MA/RD シリーズを光源として選択した場合にしか有効になりません。

3. 照明センサーにスクリーンの輝度を自動的に調整させたくない場合は、**なし**を選択します。この場合は、B.I. 機能および macOS システム設定の「輝度の自動調整」機能の両方が無効になります。ウィジェットの輝度スライダーまたはキーボードホットキーを使用して、すべてのスクリーンの輝度を手動で同時に調整することができます。

B.I. Gen2/B.I.+ Gen2/Visual Optimizer による輝度と色温度の自動調整

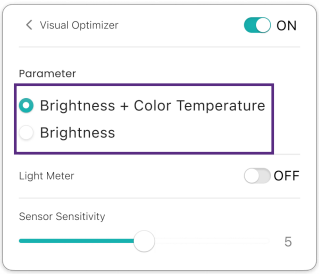
次のシリーズで有効です：RD/MA/EW シリーズ

> **注意**
>
> - 調整内容は、カラーモード切替で保存、適用されます（特定モデルのみ）。詳細は、23 ページの「カラーモードにバンドルされている設定を確認する」を参照してください。
> - **B.I. Gen2/B.I.+ Gen2/Visual Optimizer** の性能は、光源とモニターの傾斜角度によって変わります。
> - **ソフトウェア減光**は、**B.I. Gen2/B.I.+ Gen2/Visual Optimizer** がオンのときには、無効になります。
> - 最新モデルでは、**Visual Optimizer** が以前の **B.I. Gen2** 機能と **B.I.+ Gen2** 機能に置き換わっており、より洗練されたインテリジェントな調整体験をお楽しみいただけます。
> - RD240Q、RD280U(A)、および RD320U(A) の **B.I. Gen2** 機能は、輝度の自動調整にしか対応しておりません。

Brightness Intelligence Gen2 (B.I. Gen2) は、環境照明と画像コントラストに基づいてスクリーン輝度のバランスを自動調整します。**Brightness Intelligence Plus Gen2 (B.I.+ Gen2)** および **Visual Optimizer** では、輝度と色温度の同時調整を可能にしたり、輝度の自動調整だけを可能にすることで、高度な調整を可能にします。これらの機能は、精細な画像の詳細を維持しながら目の疲れを和らげてくれます。

1. ウィジェットから / をクリックして、**B.I. Gen2/B.I.+ Gen2/Visual Optimizer** を有効にします。

2. ウィジェットで機能名 **B.I. Gen2/B.I.+ Gen2/Visual Optimizer** をクリックすると、設定を調整できます。
   - **B.I.+ Gen2** および **Visual Optimizer** を活用することで、**B.I. Gen2** は輝度調整だけをさせますが、スクリーンの輝度と色温度の両方を自動的に調整したり、輝度だけを調整したりすることができます。さらに、**光量メーター**（特定モデルに限る）を有効にすることで、モニター周辺の照明の状態を表示することもできます。
   - RD240Q、RD280U(A)、および RD320U(A) の **B.I. Gen2** 機能は、輝度の自動調整にしか対応しておりませんのでご注意ください。



RD240Q/RD280U(A)/RD320U(A) のみ



3. センサー感度スライダーをドラッグすると、V.O.(B.I.) の感度レベルを調整できます。値を上げると感度も高くなります。

夜間プロテクションによる最低輝度ソリューション

次のシリーズで有効です：RD シリーズ

注意

調整内容は、カラーモード切替で保存、適用されます（特定モデルのみ）。詳細は、23 ページの「カラーモードにバンドルされている設定を確認する」を参照してください。

夜間プロテクションは最低輝度技術により、目を保護してくれます。インテリジェントな環境光検出技術と自動切替機能により、簡単に安定したアイケアを実現できます。

1. ウィジェットからアイコン または機能名**夜間プロテクション**をクリックすると、設定にアクセスできます。
2. 機能を有効にするには、**オン**または**自動切換**を選択します。**自動切換**のために、モニターは環境光の状態に応じてこの機能を有効または無効にします。
3. **レベル**でフィルタの値を調整します。値を上げるほど効果が強くなります。

音量の調整

特定モデルのみ。

選択した接続済みのスピーカーの音量をソフトウェアから簡単に調整できる方法がいくつか用意されています。

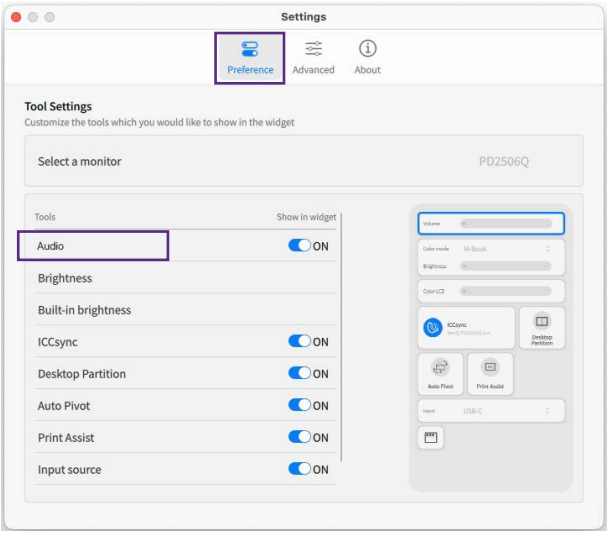
- ウィジェットのボリュームスライダー
- キーボードホットキー

キーボードホットキーによる音量調整

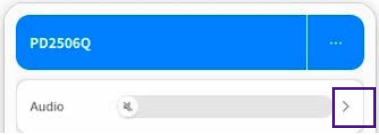
次のシリーズで有効です：macOS および Apple キーボード（特定モデルのみ）

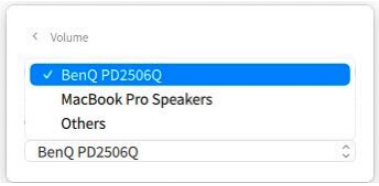
キーボードホットキーを活用すると、Apple キーボードの F10/F11/F12 キーを押すことで、接続した互換モニターの音量を調整することができます。

1. （**設定**）> **環境設定** > **オーディオ**を選択します。



2. **キーボードホットキー**が有効になっていることを確認します。
3. ウィジェットで**オーディオ**の横にある ＞ をクリックして、**出力**ドロップダウンリストから好きなスピーカーを選択します。





4. Apple キーボードの F10/F11/F12 キーを押すと、前のステップで選択したスピーカーの音量を調整することができます。

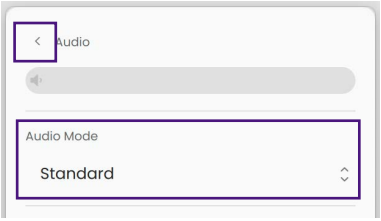
オーディオモードを変更する

次のシリーズで有効です：MA/EW/RD シリーズ

1. ウィジェットで**オーディオ**の横にある 〉 をクリックします。



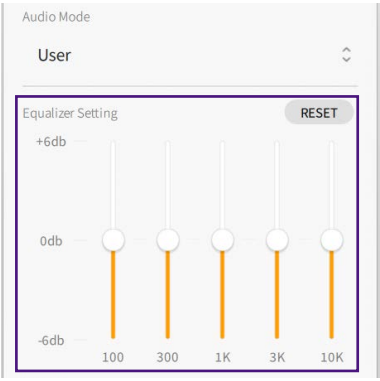
2. ドロップダウンリストからオーディオモードを選択します。
3. 調整が完了したら、〈 をクリックして終了します。



オーディオモードのカスタマイズ

次のシリーズで有効です：EW シリーズ

自分のオーディオモードを設定したい場合は、**ユーザー**を**オーディオモード**から選択します。スライダーをクリックした後ドラッグして、イコライザーの設定を調整します（別の周波数帯域）。



スクリーンを回転させる（**オートピボット / ピボット**）

スクリーンを自動的に回転させる

オートピボットは一部のモデルでしかサポートされていません。

注意

これはモニターに回転センサーが組み込まれている場合にのみ該当します。www.BenQ.com > 購入されたモデル > **仕様**タブを選択して、**オートピボット**がサポートされていることを確認してください。

ウィジェットから をクリックして、**オートピボット**を有効にします。モニターを回転させるとスクリーンも同様に回転します。

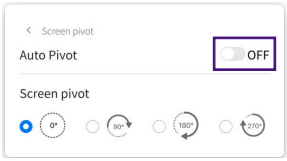
スクリーンを手動で回転させる

オートピボットまたは**ピボット**に対応するモデルでは、手動でスクリーンを回転させることができます。

1. ウィジェットから機能名**オートピボット / ピボット**をクリックすると、設定にアクセスできます。
2. 回転角度を選択します。変更した設定は直ちに反映されます。

注意

オートピボットがあるモデルの場合は、回転角度を手動で設定する前に**オートピボット**をオフにしてください。

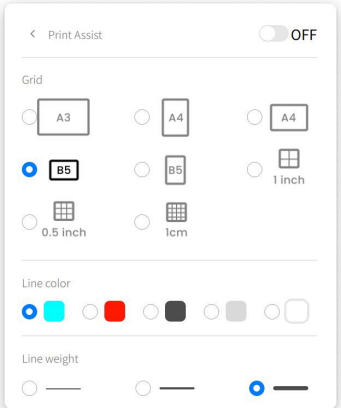


実際の印刷サイズでデザインをプレビューする（**印刷アシスト**）

次のシリーズで有効です：PD シリーズ

スクリーンに簡単にズームイン / アウトするとき、図を正確に配置するためにデザインサイズを知るためのツールが必要となります。**印刷アシスト**は、標準の印刷サイズの範囲やグリッド線を表示しますので、非常に便利です。範囲とグリッド線はプレビュー用であり、実際には印刷されません。

1. **印刷アシスト**を有効にするには、ウィジェットから  をクリックします。表示されるアイコンは、設定した印刷サイズによって変わります。
2. ウィジェットから機能名**印刷アシスト**をクリックして、標準の印刷サイズの範囲や別の測定法によるグリッド線を定義することができます。

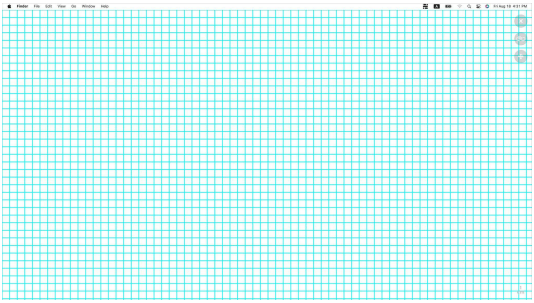


3. 印刷補助として、いくつかのアイコンが表示されます。
   - 現在のスクリーンで  をドラッグして動かします。
   - （対応時にのみ使用可能）  を選択して、印刷補助を対応する別の外付けモニターに移動させます。
   -  を選択して、**印刷アシスト**機能を無効にします。

印刷サイズ



グリッド線

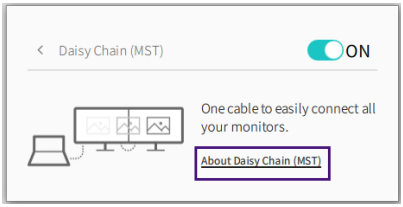


デイジーチェーン (MST) を使って複数のモニターを接続する

次のシリーズで有効です：PD/RD シリーズ（特定モデルのみ）
対応 OS：Windows

USB-C ポートまたは DP ポートを使って接続すると、**デイジーチェーン (MST)** を使ってコンテンツを 1 台から最大 4 台のモニターに出力することができます。

1. **デイジーチェーン (MST)** を有効にするには、ウィジェットから  をクリックします。
2. ウィジェットから機能名**デイジーチェーン (MST)** をクリックし、**デイジーチェーンについて (MST)** をクリックして接続ガイドを表示します。



ヒント

各モデルの接続および解像度情報については、BenQ ウェブサイトからそれぞれのユーザーマニュアルの「複数のモニターを接続する」をお読みください。最新のユーザーマニュアルは、Support.benq.com からご覧になれます。

キーボード、マウス、その他の USB 周辺機器を **KVM** と共有する

次のシリーズで有効です：MA/RD シリーズ（特定モデルのみ）

KVM を活用することで、操作機器（キーボードやマウスなど）とその他の USB 周辺機器を複数のビデオソースで共有して使用することができます。

一度に 1 つの入力を表示する

1. ビデオポート経由でビデオソースを接続してください。（ビデオポートはモデル毎に異なります）
2. 操作機器およびその他の USB 周辺機器をモニターの USB ポートに接続します。
3. 指示通りに 2 組の接続が完了すると、自動的に KVM 機能が有効になります。設定した入力に切り替わり、同時にキーボードとマウスコントロールも切り替わります。

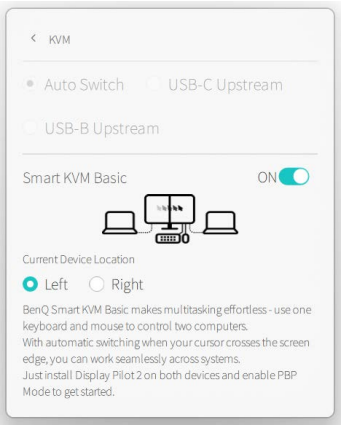
同時に 2 つの入力源を表示する（**スマート KVM/ スマート KVM ベーシック**）

同時に 2 台の入力源が表示され、**スマート KVM/ スマート KVM ベーシック** が有効の場合は、2 台のコンピュータで次のことを簡単に実行できます。

- 2 つのシステムで USB コントロールを切り替えてカーソルを自由に動かせます。
- （**スマート KVM** のみ）テキストをコピー & ペーストできます。
- （**スマート KVM** のみ）ファイルをコピー & ペーストできます。

1. ビデオポート経由で 2 つのビデオソースを接続してください。（ビデオポートはモデル毎に異なります）
2. **Display Pilot 2** が両方のコンピュータにインストールされていることを確認してください。
3. 2 台のコンピュータで確実にカーソルをシームレスに動かせるように、両方のコンピュータでスクリーンの解像度が同じに設定されていることを確認してください。
4. 操作機器およびその他の USB 周辺機器をモニターの USB ポートに接続します。
5. 両方のコンピュータの **Display Pilot 2** の **KVM** 設定で**自動切換**と**スマート KVM/ スマート KVM ベーシック**を有効にします。スマート KVM ドライバ（**スマート KVM** のみ）をインストールして確定し、メッセージが表示されたら PBP を有効にします。

6. 両方のコンピュータの **Display Pilot 2** の **KVM** 設定で、各画面が相当するソースの位置（左と左、右と右）と合致していることを確認してください。
7. 両方のコンピュータの Display Pilot 2 で**スマート KVM/ スマート KVM ベーシック**の状態が接続済みになっていることを確認してください。**スマート KVM/ スマート KVM ベーシック**機能を使用する準備が完了しました。

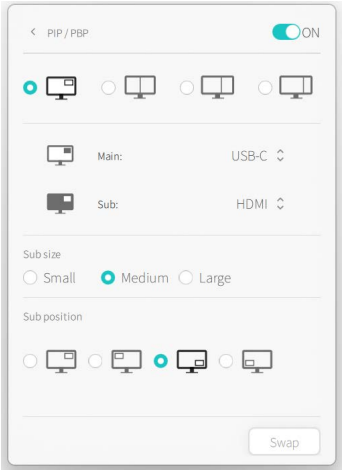


2 つ以上の映像信号を操作する（**PIP / PBP**）

次のシリーズで有効です：PD/RD シリーズ（特定モデルのみ）

Picture-in-Picture (PIP) モードは、スクリーンにメインのビデオソースを表示し、その内側の一角に 2 番目のソースを表示します。Picture-by-Picture (PBP) モードは、複数の入力源からの映像を横に並べて表示します。

1. 十分な入力源があるか、またモニターとビデオソースが正しく接続されているかケーブルの接続を確認してください。2 台または 4 台の入力源を接続できます。使用可能な設定はそれぞれ異なります。
2. ウィジェットから をクリックして、**PIP / PBP** を有効にします。入力源が自動的に検出され、表示されます。
3. ウィジェットから機能名 **PIP / PBP** をクリックして、モニター上にどのように画面を配置するかを決定します。
4. （対応時にのみ使用可能）**入れ替え**を選択して 2 つの入力源の位置を切り替えます。

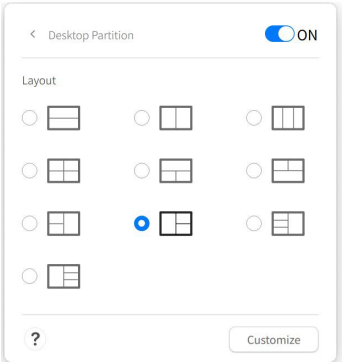


複数の画面のレイアウトを管理する（**デスクトップパーティション**）

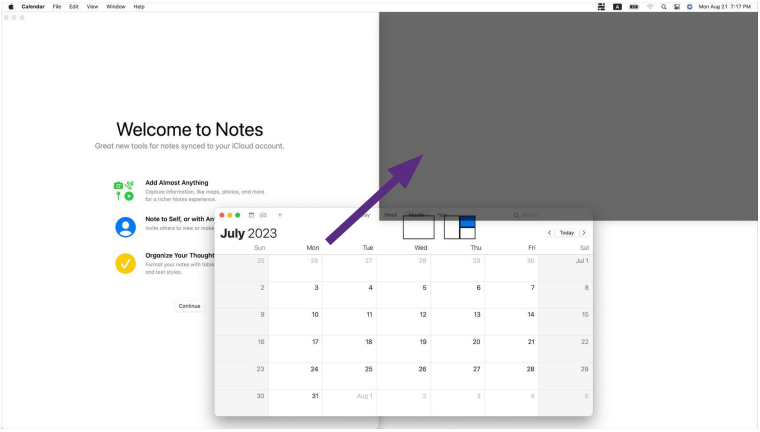
レイアウトを選択し、複数のアプリケーション画面を好みに合わせて並び替えます。同時に最大 4 つの画面を表示できます。

プリセットのレイアウトを使う

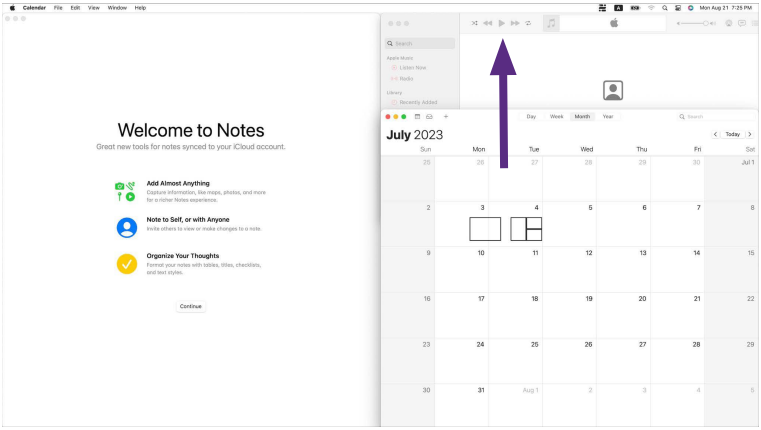
1. ウィジェットから  をクリックして、**デスクトップパーティション**を有効にします。
2. ウィジェットから機能名**デスクトップパーティション**をクリックすると、プリセットのレイアウトを選択できます。



3. アプリケーション画面の 1 つを選択してドラッグ操作で移動させます。画面を動かすと小さいレイアウトが表示されますので、その画面を好きな位置にドラッグ・アンド・ドロップします。

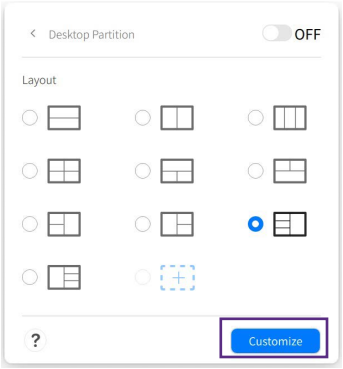


4. 画面が選択した範囲内に合うようにリサイズされます。すべての画面が計画どおりに配置されるまでステップ 3 を繰り返します。
5. 必要であれば、範囲の端をドラッグ・アンド・ドロップしてリサイズします。変更されたレイアウトは適用されていますが、まだ保存されていません。リサイズしたレイアウトを保存するには、50 ページの「レイアウトのカスタマイズ」をお読みください。

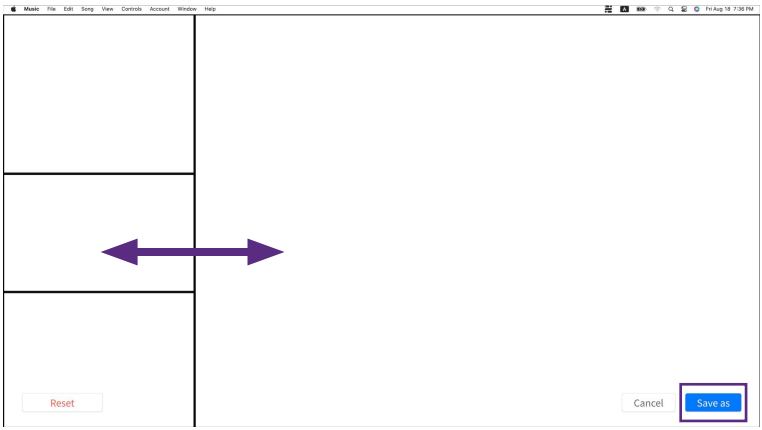


レイアウトのカスタマイズ

1. ウィジェットから機能名**デスクトップパーティション**をクリックします。
2. 変更を行うための土台としてプリセットのレイアウトを選択します。
3. **カスタマイズ**をクリックします。



4. 範囲の端をドラッグ・アンド・ドロップしてリサイズします。
5. 調整が完了したら、**保存**をクリックして新しいレイアウトを保存します。以後は、カスタマイズしたレイアウトをレイアウトリストから選択して使用できるようになります。



6. カスタマイズしたレイアウトは、最大で 2 種類まで保存できます。新しくレイアウトをカスタマイズしたい場合は、既存のカスタマイズしたレイアウトを削除します。

スクリーンプライバシーの保護（EcoPrivacy）

次のシリーズで有効です：RD シリーズ（特定モデルのみ）

EcoPrivacy 機能は無作動状態になるとモニターを暗くして省エネを実行し、スクリーンプライバシーを保護します。

1. ウィジェットから  をクリックして、**EcoPrivacy** を有効にします。
2. ウィジェットで機能名 **EcoPrivacy** をクリックして、アクティベーション時間、モード（一部のモデルのみ）、センサー感度などの高度なオプションを調整してください。

キーの組み合わせを使って、モニターの設定を調整します（ショートカット）

次のシリーズで有効です：RD/EW シリーズ

注意

調整項目は、シリーズと OS により変わります。

Display Pilot 2 を活用すると、**ショートカット**からマウスを使わずにモニターの設定を簡単に調整できます。

プリセットのショートカットを使う

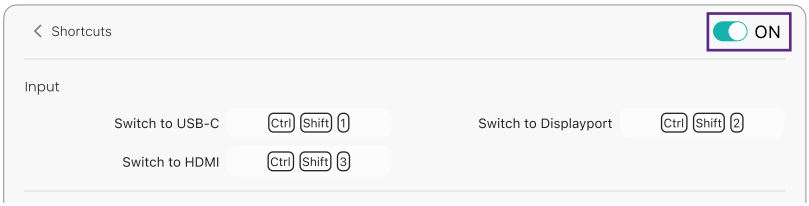
1. ウィジェットから  をクリックして、**ショートカット**を有効にします。
2. ウィジェットから機能名**ショートカット**をクリックすると、すべてのショートカットを確認することができます。
3. キーの組み合わせを使用することで、キーボードを使ってコマンドを完成させます。

自分のコンビネーションキーを設定するには、51 ページの「ショートカットのカスタマイズ」を参照してください。

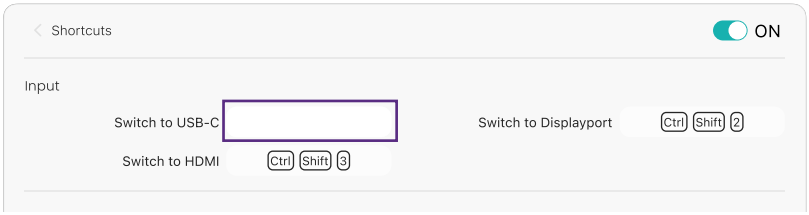
ショートカットのカスタマイズ

プリセットのショートカットを使用する以外にも、キーの組み合わせをカスタマイズすることもできます。

1. ウィジェットから機能名**ショートカット**をクリックします。
2. 機能を有効にしてください。

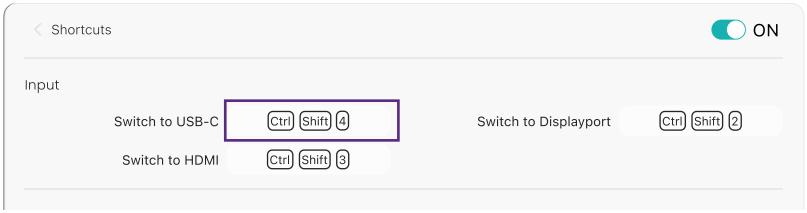


3. カスタマイズしたいキーの組み合わせをクリックします。エリアが空白になります。

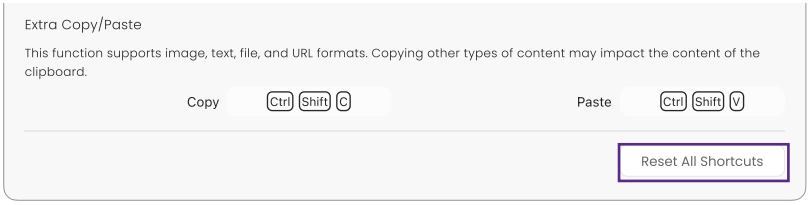


4. 割り当てたいキーの組み合わせを押します。変更内容は自動的に保存されます。

> **注意**
>
> すでにショートカットを使用している場合は、通知メッセージが表示され、ショートカットは変更前の設定に戻ります。



5. ショートカットを初期値に戻すには、**ショートカット**設定画面の一番下にある**すべてのショートカットをリセット**をクリックします。



直接検索エンジンにアクセスする（**直接検索**）

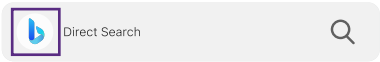
次のシリーズで有効です：RD シリーズ

注意

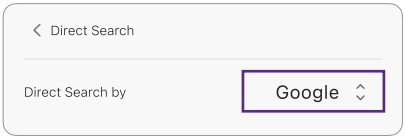
現在有効なオプションには、Google、ChatGPT、Bing、Baidu があります。設定できるオプションは、地域により異なります。

直接検索を活用すると、頻繁に使用する検索エンジンを開き、**Display Pilot 2** のインターフェイスから直接検索することができます。

1. 検索エンジンのアイコンをクリックすると、設定画面が開きます。



2. 設定画面からお好みの検索エンジンを選択します。

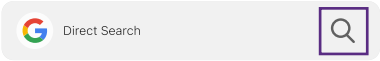


3. 検索エリアをクリックして、検索する条件を直接入力します。



注意：検索エリアへの入力は、ChatGPT では実行できません。お使いのブラウザで ChatGPT を開き、 → を直接クリックします。

4. 🔍 をクリックしてブラウザを開き、検索結果を探します。



フォーカスシナリオをカスタマイズする（FocuSync）

次のシリーズで有効です：MA シリーズ（macOS のみ）

FocuSync macOS のフォーカス状態を自動的に同期し、プリセットのディスプレイ設定を各フォーカスモードに適用します。

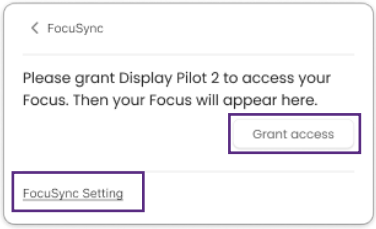
1. この機能を使用するには、 をクリックするか、ウィジェットから機能名 **FocuSync** をクリックして、**Display Pilot 2** にアクセスする権利があることを確認してください。

   注意

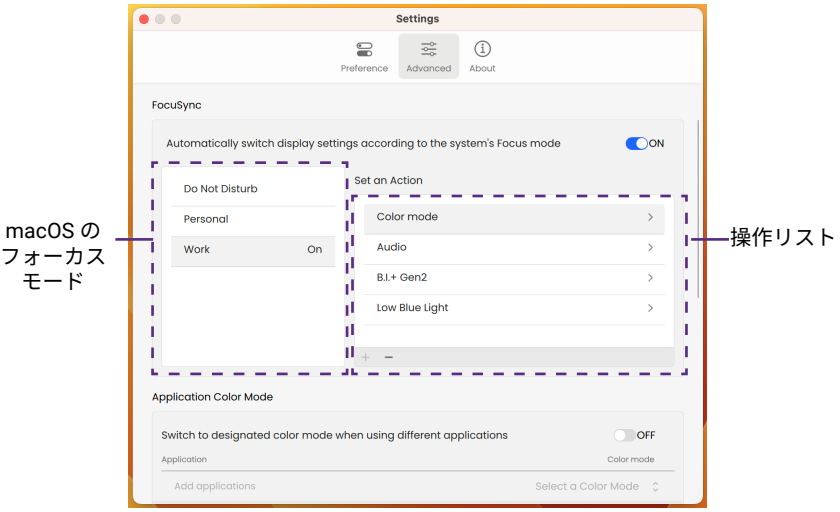
   Display Pilot 2 へのアクセス権を手動で取得するには、macOS で**システム設定** > **プライバシーとセキュリティ** > **フルディスク アクセス**を選択し、トグルして **Display Pilot 2** を選択します。

2. macOS のフォーカスに適用されるディスプレイ設定を行うには、

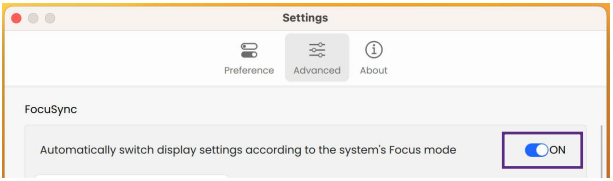
   FocuSync の設定を選択するか、 （**設定**） > **詳細設定** > **FocuSync** を選択してください。



3. **FocuSync** セクションで、左側の欄に macOS のすべてのフォーカスモードが表示されます。左側の欄からフォーカスモードを選択し、右側の欄から ＋ をクリックして操作を設定するか、このフォーカスモードに適用したい設定を選択します。



4. リストから操作を削除するには、操作を選択して − をクリックします。
5. **FocuSync** またはオンにして、ウィジェットから をクリックして機能をオンまたはオフにします。

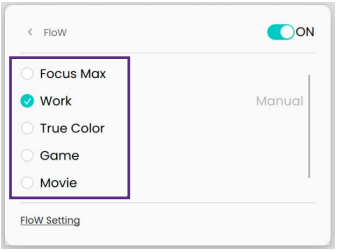


日常の用途に応じてバンドルされているディスプレイ設定を調整する (FloW)

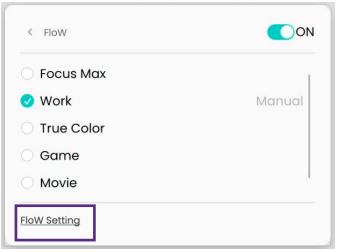
次のシリーズで有効です：RD シリーズ

FloW を使用すると、日常の用途に応じたディスプレイ設定のグループを設定し、手動でシナリオを変えたり、自動的に設定を有効にする時間を予約したりすることができます。

1. ウィジェットから をクリックして、**FloW** を有効にします。
2. ウィジェットから機能名 **FloW** をクリックすると、適用するシナリオを選択できます。

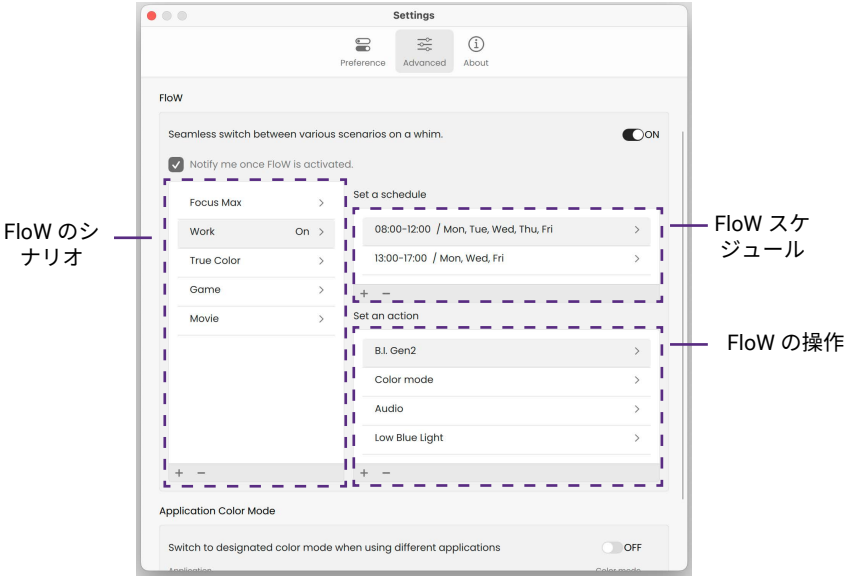


3. シナリオの設定を開始したり、調整したりするには、**FloW 設定**をクリックします。または、（**設定**）> **詳細設定** > **FloW** を選択します。詳細は、56 ページの「FloW の設定を調整する」を参照してください。

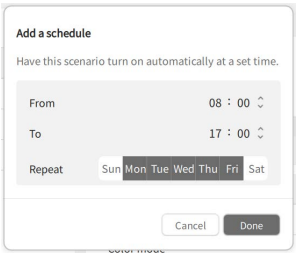


FloW の設定を調整する

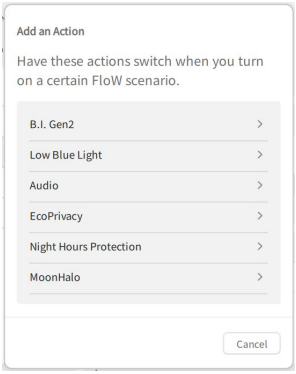
（**設定**）> **詳細設定** > **FloW** を選択して、シナリオのルールを設定します。



1. 左側の欄でリストからシナリオのプリセットを選択します。＋をクリックしてシナリオを追加し、 > をクリックして別名を付けます。
2. シナリオを選択した後、右上の欄から ＋ をクリックして自動的にシナリオを実行するスケジュールを設定します。スケジュールが設定されていなければ、手動で選択して別のシナリオに切り替えることができます。



3. 右下にある欄から ＋ をクリックして、このシナリオに適用したい設定を調整します。カスタマイズしたディスプレイ設定を適用するほかに、**「アプリケーションを開く」**を選択して専用のアプリを操作リストに追加することもできます。このようにすると、シナリオが有効になるとアプリが自動的に起動されます。



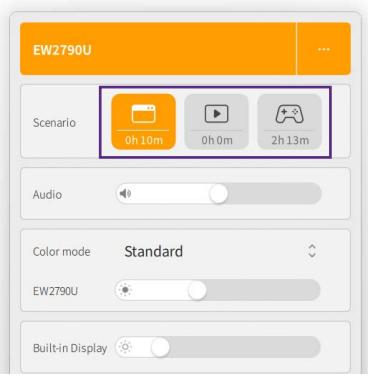
4. リストから現在のスケジュールや操作を編集するには、項目の > をクリックします。
5. リストから項目を削除するには、操作を選択して − をクリックします。

プリセットシナリオに対してモニター設定をすばやく切り替える（**シナリオ**）

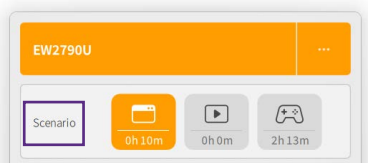
次のシリーズで有効です：EW シリーズ

本機は様々な用途でご使用いただけますが、それぞれに異なる設定が必要な場合があります。仕事 / 研究、動画 / オーディオ再生、ゲーミングなど、あらかじめ設定を 3 セットまで保存しておくことができ、ワンクリックで適用することができます。

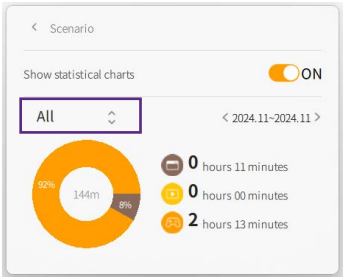
1. シナリオをクリックすると直ちにそれが適用されます。アイコンがハイライトされているときには、シナリオが適用されています。



2. シナリオで次の設定を調整すると、変更内容は直ちに適用され、シナリオ設定が更新されます。
   - 音量
   - オーディオモード
   - カラーモード
   - 輝度
   - ブルーライト軽減
3. それぞれのシナリオが適用された時間を表示する方法を決定します。設定を変更するには、**シナリオ**をクリックします。



4. 統計を表示するかどうか、また表示する値の範囲を決定します。



リアルタイムでコントラストを自動的に調整する（**AI コントラスト / ローカルコントラスト**）

次のシリーズで有効です：EW/RD シリーズ（特定モデルのみ）

AI コントラストを有効にします。表示されたコンテンツによって、画像のコントラストをダイナミックに調整できます。この機能は、細部を最適に表示してくれます。これは、暗いエリアの詳細を見失いがちな HDR コンテンツに対して特に便利です。

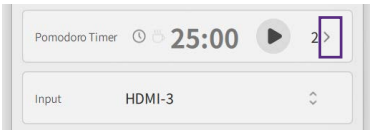
ウィジェットで をクリックすると、**AI コントラスト / ローカルコントラスト**が有効になります。

Pomodoro タイマーで時間を有効に管理する

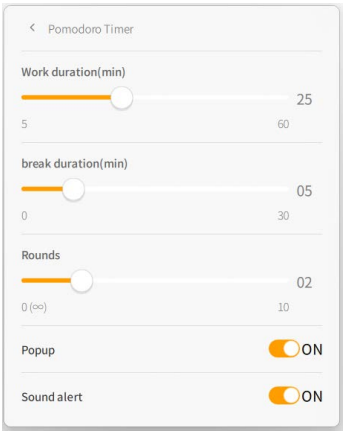
次のシリーズで有効です：EW シリーズ

この機能はカウントダウンタイマーで、仕事をする時間と休憩する時間をリマインドします。

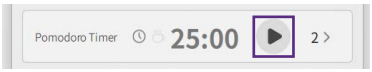
1. 時間範囲を設定するには、 > をクリックします。



2. スライダーをドラッグして、仕事をする時間と休憩する時間のタイマーを調整します。さらに、**ラウンド**では繰り返す回数も設定できます。**ラウンド**が **0** のとき、タイマーは繰り返し続けます。
セッション終了時に、ポップアップメッセージまたはサウンドアラームで通知するかどうかを決定します。



3. タイマーは手動でスタートする必要があります。ウィジェットから ▶ をクリックすると、カウントダウンタイマーが開始します。仕事の時間帯は、🕒 アイコンで知らせます。



4. 仕事の時間帯が終了したら、ポップアップ画面またはウィジェットで ▶ をクリックして休憩タイマーを開始します。☕ アイコンは、休憩時間であることを知らせます。

> **注意**
>
> カウントダウン中は、タイマー設定を変更することはできません。 ■ をクリックして、先にタイマーを止めてください。

複数のモニター間で色設定を同期する（**色のミラー化**）

次のシリーズで有効です：RD シリーズ

この**色のミラー化**機能により、メインモニターでの色調整が、同じモデルのすべての接続モニターにリアルタイムで自動的に同期されます。

色のミラー化の互換性：

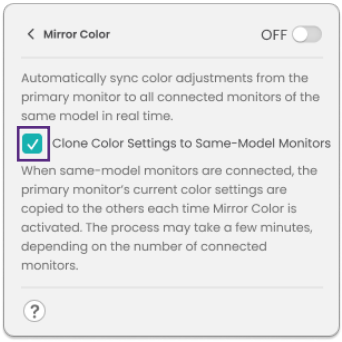
同じ行にグループ化されたデバイスは、相互に互換性があります。そうでなければ、同期には同一のモデルが必要です。

- RD240Q
- RD280U / RD280UA
- RD320U / RD320UA
- RD280UG
- RD270Q

1. 同じモデルのモニターを複数台、システムに接続してください。モニターが 1 台しか検出されない場合、追加のモニターを接続するよう促す通知が表示されます。
2. 機能を利用するには、 をクリックしてください。ポップアップ画面が開きます。

   注意

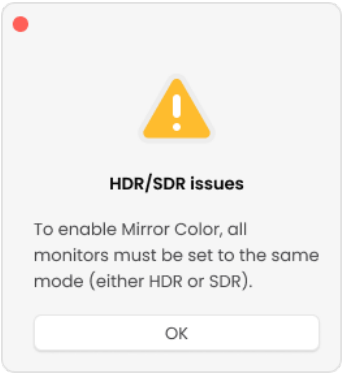
   色のミラー化を有効にすると、**輝度の同期**も有効になります。
3. （オプション）「**色設定を同一モデルのモニターにクローン**」のチェックボックスをオンにすると、有効化時にメインモニターの現在のカラー設定が、接続されているすべてのモニターにコピーされます。



注意

カラー設定はモデルによって異なる場合があり、カラーモード、コントラスト、ローカルコントラスト、シャープネス、彩度、ガンマ、色温度、夜間プロテクション、ブルーライト軽減、カラーユニバーサルなどがあります。

4. 色のミラー化スイッチを**オン**に切り替えて、同期を開始してください。接続されているモニターの数によっては、処理に数分かかる場合があります。色のミラー化を有効にするには、すべてのモニターを同じモード（HDR または SDR）に設定する必要がありますのでご注意ください。そうでない場合、警告ポップアップが表示されます：



> **注意**
>
> ハードウェア構成によっては、複数のモニターで HDR を同時に有効にできない場合があります。そのような場合、**色のミラー化**は自動的に無効になります。

5. 同期が完了すると、確認メッセージが表示されます。同期されたすべてのモニターで、色設定を同時に変更できるようになりました。

> **注意**
>
> - 既存の同期グループに同じモデルの新しいモニターが追加されると、そのモニターは自動的に同期対象に含まれ、色設定もそれに応じて調整されます。
> - 色設定はメインモニターによって制御されます。セカンダリディスプレイでの変更は同期されません。

設定をクラウドストレージにバックアップする

Google、WeChat、Apple アカウントにログインしなければ使用できません。

ソフトウェアにログインしたユーザーの方には、クラウドストレージ サービスをご利用いただけます。次のソフトウェア設定をクラウドにバックアップすることができます。

- （**設定**）> **環境設定 / 詳細設定**を選択した後のすべての設定とカスタマイズ
- 各カラーモードの変更済みカラー設定
- カスタマイズされた ICC プロファイル
- カスタマイズした**デスクトップパーティション**レイアウト

設定がクラウドに保存されると、別のコンピュータやモニターで作業したい場合や、環境設定を復元したい場合は、クラウドからソフトウェア設定を読み込むことができます。

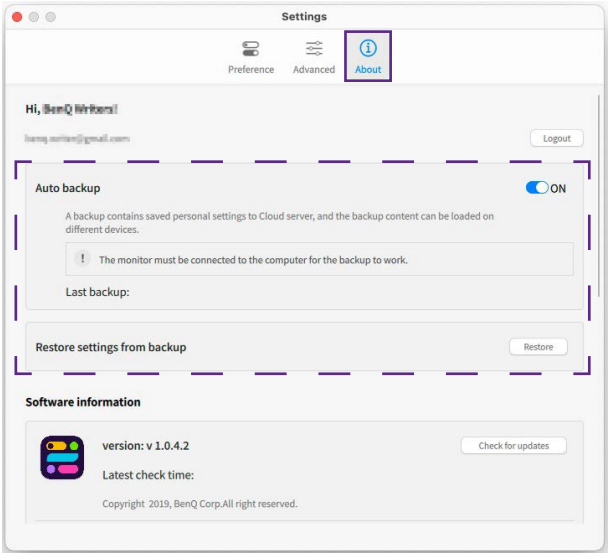
機能	バックアップ頻度	クラウド上のバックアップファイル
オートバックアップ	1 日 2 回	クラウドサービスは、最後にバックアップしたファイルを保存します。
手動バックアップ	常時	クラウドサービスは、最後の 3 つのバックアップファイルを保存します。

クラウドにソフトウェア設定をアップロードする

1. コンピュータがインターネットに接続されており、対応するアカウントサービスの 1 つにログインしていることを確認してください。
2. （**設定**）> **About** を選択します。**オートバックアップ**機能は、ログインするとデフォルトでオンに設定されます。外付けモニターが正しく接続され、電源が入っていると、予定された間隔でオートバックアップが実行されます。**オートバックアップ**機能をオフにすると、**バックアップ**ボタンが表示されます。必要に応じて手動でバックアすることができます。

機能	バックアップ頻度	クラウド上のバックアップファイル
オートバックアップ	プリセットにより 1 日 2 回	クラウドには最新のバックアップファイルだけが保存されます。

機能	バックアップ頻度	クラウド上のバックアップファイル
手動バックアップ	常時	最大 3 個のバックアップファイルに名前を付けて、クラウドに保存することができます。新しいバックアップファイルを保存するには、まず古いファイルを選択してから新しいファイルに置き換える必要があります。



クラウドから設定を読み込む

1. コンピュータがインターネットに接続されており、対応するアカウントサービスの 1 つにログインしていることを確認してください。
2. （**設定**）> **About** を選択します。
3. **復元する**をクリックして、読み込みたいバックアップファイルを 1 個選択すると、選択した設定でモニターが復元されます。画面の指示に処理に従ってください。

サポートを探す

問題が生じた場合は、68 ページの「トラブルシューティング」をご覧になり問題を解決してみてください。

または、（**設定**）> **About** を選択してより詳しいサポートを得てください。

最新のユーザーマニュアルを読む

ネットワーク接続が必要です。

（**設定**）> **About** を選択して、**Display Pilot 2 ユーザーマニュアル**をクリックします。BenQ のウェブサイトから最新版の説明書を開きます。

カスタマーサービスに問い合わせる

ネットワーク接続が必要です。

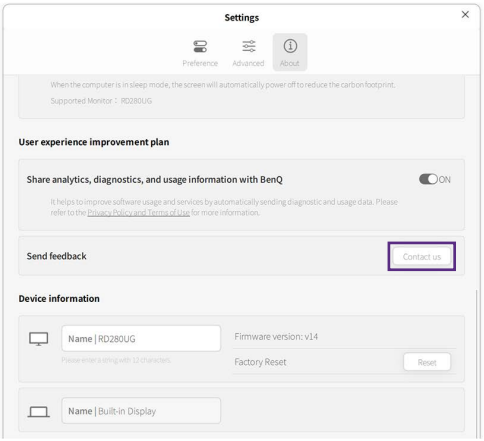
サポートチームにサポートを依頼するには：

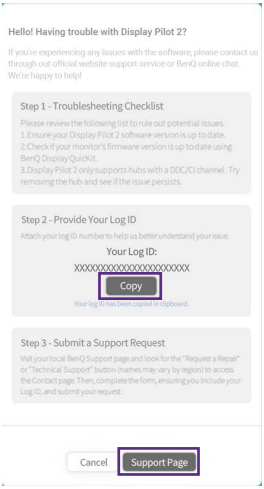
1. （**設定**）> **About** > **お問い合わせ**を選択します。ポップアップ画面が開きます。
2. **トラブルシューティング チェックリスト**を確認し、考えられる問題を切り分けてください。
3. 画面で**ログ ID** を探して**コピー**をクリックします。後からこの ID を**お問い合わせフォーム**に記載してください。

注意

問題をシステム側から調査するため、サポートチームでは**ログ ID** とソフトウェアによって生成された**ログファイル**が必要となります。

4. **サポートページ**をクリックしてフォームに必要事項を入力してください。
これにより、弊社はお客様の問題を把握し、適切な解決策を提供できます。

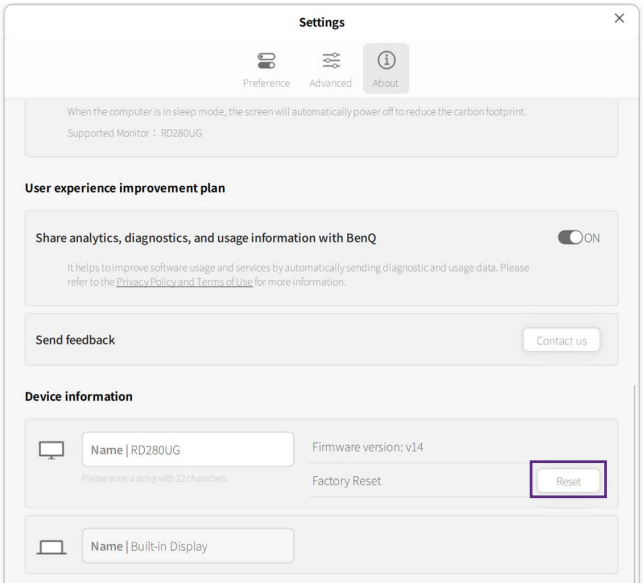




システムのリセット

システムを初期値に戻すには、（**設定**）> **About** > **再設定**を選択します。カスタマイズしたすべての変更内容がリセットされます。

> **注意**
>
> カラーモードだけを設定するには、ウィジェットからカラーモードを設定し、カラーモード設定を続行します。**色のリセット**を選択します。



ソフトウェアを終了する

システムトレイ / メニューバーにある アイコンを右クリックして、**Display Pilot 2 を終了**を選択します。

トラブルシューティング

Linux ユーザー：

- www.BenQ.com にアクセスし、「**Display Pilot 2**」と「**Linux**」を検索してください。検索結果画面の左側のパネルにある **FAQ** セクションをご覧ください。ダウンロード、インストール、解像度設定、音量調整、およびその他の関連トピックに関するご案内が掲載されています。
- OS の制限や動作上の違いにより、Linux 版では Windows 版や macOS 版と同じ機能セットを提供していません。

自動的に最新のソフトウェアを入手するには？

（**設定**）> **About** から**自動的にアップデートをチェックする**を有効にすると、ソフトウェアのアップデートがリリースされると通知が届きます。詳細は、10 ページの「ソフトウェアの更新」を参照してください。

Display Pilot 2 で他のカラーモードに変更できません。リストに HDR モードしか表示されません。

コンピュータのオペレーティングシステム (OS) から HDR モードが有効になっており、入力源が HDR 対応の場合は、本機は HDR モードに切り替わります。

他のカラーモードで作業をしたい場合は、OS から HDR 設定を無効にしてください。コンピュータのオペレーティングシステムによって手順が異なります。詳細は、オペレーティングシステムのヘルプドキュメントをご覧ください。または、次のリンクから HDR 設定画面を開いてください。

- Windows 環境：https://support.microsoft.com/en-us/windows/hdr-settings-in-windows-2d767185-38ec-7fdc-6f97-bbc6c5ef24e6
- MacOS 環境：https://support.apple.com/en-us/HT210980

カラーモードの設定を変更しても、モニターに反映されません。

次のことをご確認ください：

1. OS から HDR を無効にしてください。詳細は、オペレーティングシステムのヘルプドキュメントをご覧ください。または、次のリンクから HDR 設定画面を開いてください。
   - Windows 環境：https://support.microsoft.com/en-us/windows/hdr-settings-in-windows-2d767185-38ec-7fdc-6f97-bbc6c5ef24e6
   - MacOS 環境：https://support.apple.com/en-us/HT210980
2. モニターの OSD メニューから DDC/CI コントロールが有効になっていることを確認してください。**システム** > **詳細設定** > **DDC/CI** > **オン**を選択します。

キーボードホットキーが作動しません。

次のことをご確認ください：

- 69 ページの「ソフトウェアを終了する」に記載される手順にしたがって、ソフトウェアを終了します。ソフトウェアを再起動して、40 ページの「キーボードホットキーによる輝度調整」に記載される手順にしたがいます。
- Mac の**アプリケーション**フォルダの中に **Display Pilot 2** があることを確認してください。これがない場合は、コンピュータをリブートしてソフトウェアを再度インストールします。
- アクセシビリティと入力監視を使用するには、このソフトウェアにアクセスする権限があることを確認してください。**システム設定** > **プライバシーとセキュリティ** > **アクセシビリティ**および**入力監視**を選択します 。
  - **Display Pilot 2** が見つからない場合は、＋ をクリックして**アプリケーション**から追加します。ソフトウェアがコンピュータの操作を許可していることを確認してください。
  - **Display Pilot 2** があるが、無効になっている場合は、コンピュータを操作できるように有効にしてください。
  - **Display Pilot 2** があり、有効になっている場合は次の手順にしたがってください。それを選択し、－ をクリックして削除します。＋ をクリックして、**アプリケーション**から再度追加します。ソフトウェアがコンピュータの操作を許可していることを確認してください。

  コンピュータをリブートして、**Display Pilot 2** を再起動します。再度**キーボードホットキー**をお試しください。

FocuSync が作動しません。

次のことをご確認ください：

- Mac の**アプリケーション**フォルダの中に **Display Pilot 2** があることを確認してください。これがない場合は、コンピュータをリブートしてソフトウェアを再度インストールします。
- このソフトウェアにフルアクセスできる権利があることを確認してください。Mac から**システム設定** > **プライバシーとセキュリティ** > **フルディスク アクセス**を選択します。
  - **Display Pilot 2** が見つからない場合は、＋ をクリックして**アプリケーション**から追加します。ソフトウェアがコンピュータの操作を許可していることを確認してください。
  - **Display Pilot 2** はあるが、無効になっている場合は、コンピュータを操作できるように有効にしてください。
  - **Display Pilot 2** があり、有効になっている場合は次の手順にしたがってください。それを選択し、－ をクリックして削除します。＋ をクリックして、**アプリケーション**から再度追加します。ソフトウェアがコンピュータの操作を許可していることを確認してください。

  コンピュータをリブートして、**Display Pilot 2** を再起動します。再度 **FocuSync** をお試しください。
- **システム設定** > **コントロールセンター** > **集中モード**を選択します。**使用中に表示**または**メニューバーに常に表示**のどちらかを選択します。

一部の機能が作動していません。

Display Pilot 2 で ••• （**設定**）> **About** から**エクスポート**をクリックして、ソフトウェアが生成したログ ID をカスタマーサービスにお伝えください。詳細は、67 ページの「カスタマーサービスに問い合わせる」を参照してください。

それでも解決できないときは

本書を確認して後も問題を解決できない場合は、Support.BenQ.com をご覧になりサポートとカスタマーサービスをご確認の上、お問合せください。

Support.BenQ.com

BenQ.com

© 2026 BenQ Corporation.
All rights reserved. 編集権は BenQ Corporation が所有しています。